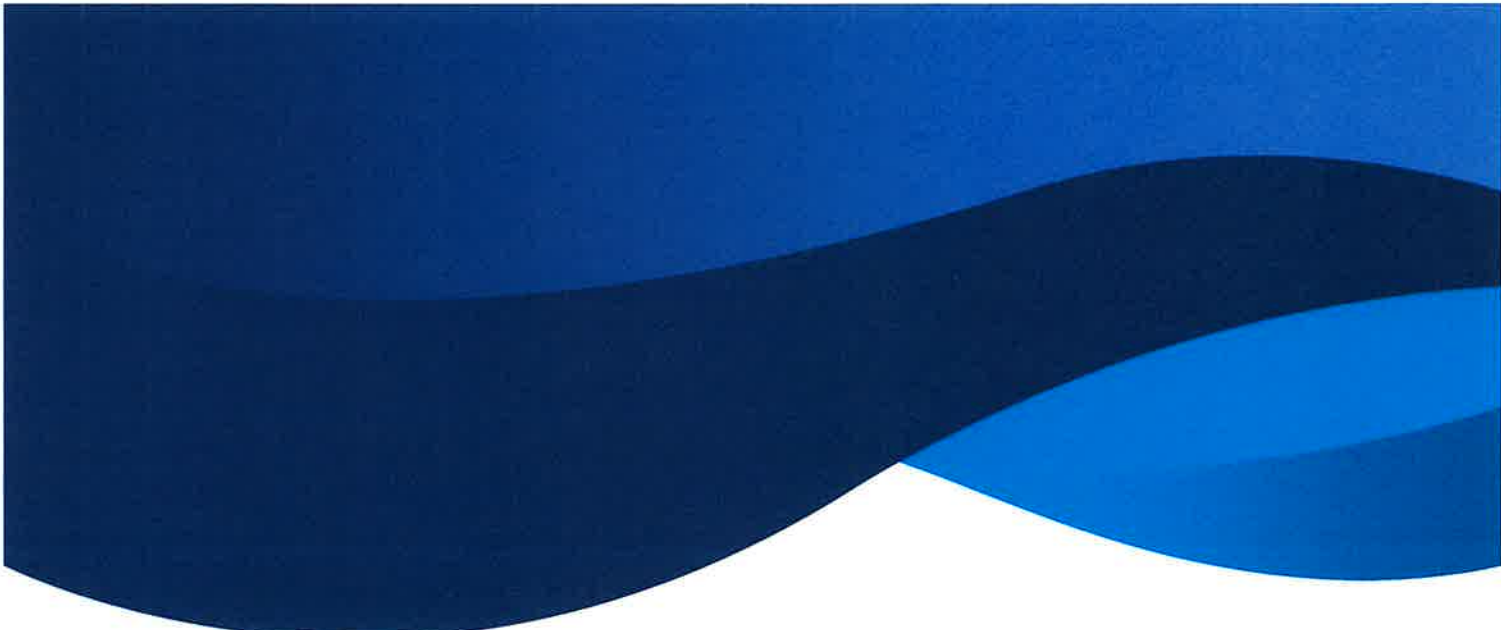




各教科・専門実習

**年間計画と評価表
2026**

日野中央高等特別支援学校



国語

(国語科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・言葉で伝え合う力を高め、それを活用する力・態度を育てる。 ・社会生活に必要な言葉の知識を深め、学び続ける力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	「言葉で伝え合う力」
----------	---	-----------------	------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	社会生活に必要な言葉の知識に触れ、適切に使用する力を育成する。
(2) 思考力判断力表現力等	聞いたり、読んだりしながら内容を整理して理解する力を培う。話したり、書いたりしながら自分の考えを言葉で伝える力を養う。
(3) 学びに向かう力人間性等	言葉がもつ良さを知り、粘り強く、より良く学び続けようとする力を育てる。

(1) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 5月	「オリエンテーション」 「自己紹介をしよう」	相手に伝わる自己紹介をしよう	自分の良いところを中心に短い言葉で表現することができる	相手に伝わる話し方をする ことができる 聞く姿勢を意識して、自己紹介を聞くことができる	伝わる話し方、話を聞く態度等を意識して学習に取り組むことができる
6月	「敬語を知ろう」	敬語の種類と言葉遣いについて	日常でよく使われる敬語を知り、使うことができる	敬語を用いて言葉で伝える力の表現を適切に判断することができる	社会に出ても言葉遣いに関して学び続けて、敬語を使いこなそうとすることができる
7月	「メッセージアプリの使い方」	SNSを使う時のルールやマナー、コミュニケーションの取り方について学ぼう	SNSを使って情報を収集することができる	相手に伝わりやすい表現を 考えることができる SNS使用時におけるトラブルに気付くことができる	発信する際に相手の気持ちを考えようとしている
8月 9月	「思い出を文章にして残そう」	夏休みやこうよう祭の思い出を作文で表現する	書く内容、伝えたいことを明確にできる	相手や目的を意識して伝えたいことを明確にできる	書く内容の中心を明確にし、筋道の通った文章になるよう構成を考えられる
10月	「基礎力アップ」	漢字の読み書き、文法知識、語彙力等の自己学習	国語に関する基本的な知識やそれを活用する技術の習得の理解度を知ることができる	知識、技術を活用し、学習内容を理解し表現することができる	目標をもって粘り強く学習に取り組むことができる
11月 12月	「はがきを書こう」	はがきの書き方を身につける	はがきの書き方や新年の挨拶について知っている	時候の挨拶や新年の挨拶を使うことができる	用紙全体と文字量を考え、バランスよく書くことができる
1月	「書写」	自分で一字を決め、書写を行う	姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる	用紙全体と文字量を考え、バランスよく書くことができる	課題に対して最後まで諦めずに取り組もうとしている
2月	「百人一首」	古典に親しみ百人一首に取り組む	歴史的仮名遣いを読むことができる	短歌を読んで詠まれている情景を想像することができる	短歌を読んでその良さを説明することができる
3月	「俳句をつくろう」	俳句のきまりを知り、オリジナルの俳句を詠む	五・七・五の型に沿って情景を詠むことができる	詠みたい情景に合わせて季語を選択することができる。	俳句のリズムに親しみ、声に出して詠むことができる

(2年国語) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・言葉で伝え合う力を高め、それを活用する力・態度を育てる。 ・社会生活に必要な言葉の知識を深め、学び続ける力を育成する。	教科で育てたい資質能力	「言葉で伝え合う力」
----------	---	-------------	------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	社会生活に必要な言葉の知識に触れ、適切に使用する力を育成する。
(2) 思考力判断力表現力等	聞いたり、読んだりしながら内容を整理して理解する力を培う。話したり、書いたりしながら自分の考えを言葉で伝える力を養う。
(3) 学びに向かう力人間性等	言葉がもつ良さを知り、粘り強く、より良く学び続けようとする力を育てる。

(2) 年 年間計画と評価		学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション 自己紹介	話し言葉と書き言葉 表現、共有・構造と内容の把握	送り仮名、句読点、「」を適切に使うことができる。 間の取り方に注意して話すことができる。	間の取り方や抑揚を工夫して伝えることができる。	・自らの状態や学習状況に応じて支援要求や質問をしようとしている。 ・全ての課題に取り組もうとしている。
5	敬語をしよう	場面に合わせた敬語を使う	日常よく使われる敬語を知り、使うことができる。	話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、内容を捉えることができる。	
6	基礎力アップ	言葉の特徴や使い方 国語文化	ことわざや慣用句を使うことができる。	目的や進め方を確認しながら話し合い、共通点や相違点をまとめられる。	
7	メッセージアプリの使い方	ロールプレイ	場面に応じた丁寧な受け答えができる。	相手や目的を意識して伝えたいことを明確にできる。	
8.9	思い出を文章にして残そう	思い出作文	主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係について理解している。	集めた材料から伝え合うために必要な情報を選ぶことができる。	
10・11	基礎力アップ	言葉の特徴や使い方 国語文化	ことわざや慣用句を使うことができる。	段落の関係、考えとそれを支える理由などの関係についてわかる。	
12	小説に親しもう	あの花が咲く丘で、君とまた会えたら。	文章をスラスラと読むことができる。	登場人物の行動や気持ちについて文章を基に捉えられる。	
1	書初めをしよう 百人一首を楽しもう	書写 百人一首	文字の形を整えて書くことができる。 伝統に親しむことができる。	書初めを通して、文字の組み立て方やきれいな文字の書き方について学ぶ。	
3	お世話になった人にお礼の手紙を書こう	手紙の書き方	主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係について理解している。	自分の考えとそれを支える理由を明確にして書く。	

(国語) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・言葉で伝えあう力を高め、それを活用する力・態度を育てる。 ・社会生活に必要な言葉の知識を深め、学び続ける力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	「言葉で伝え合う力」
----------	---	-----------------	------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	社会生活に必要な言葉の知識に触れ、適切に使用する力を育成する。
(2) 思考力判断力表現力等	聞いたり、読んだりしながら内容を整理して理解する力を培う。話したり、書いたりしながら自分の言葉で伝える力を養う。
(3) 学びに向かう力人間性等	言葉がもつ良さを知り、粘り強く、より良く学び続けようとする力を育てる。

(3) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	オリエンテーション	学習の進め方やねらいを学ぶ			
5月	○自己紹介をしよう ○敬語を知ろう	・話し言葉と書き言葉、表現、共有・構造と内容の把握 ・場に応じた敬語の使用	・はっきりとした言葉で話することができる ・丁寧な言葉を理解し、実際に使うことができる	・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉え、内容を理解できる。 ・場面に応じた言葉の使い分けができる	・課題に対して最後まであきらめずに取り組もうとしている
6月	○基礎力アップ (プリント、スライド学習)	・主熟度にあった漢字の読み書きを学ぶ ・主語、述語や接続詞などの文法事項について復習する	・習熟度にあった漢字を覚え、文章等に使うことができる ・主語、述語等の文章の構成を理解しながら取り組むことができる		・全ての課題に取り組もうとしている
7月 8月	○本に親しもう (おススメの本のスライド作成、発表)	・本に親しみ、その本の良さを知る ・本を読んで理解したことを自分の考えでまとめる ・発表等を聞いて、本に対する興味・関心を広める	・おススメの本の内容をまとめ、他者に伝えることができる	・本を読んで理解したことに基づいて感想や、考えがもてる ・発表者が伝えたいことを聞き取り、内容をとらえることができる	・自らの状態や、学習状況に合った方法で、より良く学ぼうとしている
8月 9月	○文章力を高めよう (文章読解、作成、発表)	・事実と感想を区別して書く ・自分の思いや考えを明確に書く ・漢字と仮名の使い分け、句読点、「」の使い方を知り、活用する	・文章の中で漢字と仮名の使い分け、送り仮名、句読点、「」の適切な使用ができる	・目的に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりし、事実と感想を区別して書くことができる	・自らの状態や、学習状況に合った方法で、より良く学ぼうとしている
10月	○思い出を文章にして残そう (文章作成)				
11月	○基礎力アップ (プリント、スライド学習)	・主熟度にあった漢字の読み書きを学ぶ ・主語、述語や接続詞などの文法事項について復習する	・習熟度にあった漢字を覚え、文章等に使うことができる ・主語、述語等の文章の構成を理解しながら取り組むことができる		・全ての課題に取り組もうとしている
12月	○書写	・来年の1字	・用紙に合わせた文字をバランスよく書くことができる	・決めた文字の理由を明確にし、考えながら文字を書くことができる	・全ての課題に取り組もうとしている
1月 2月	○百人一首を楽しもう ○俳句を作ろう (俳句に親しむ、作成)	・古代のリズムに触れる ・日本の古くからの遊びを楽しむ ・俳句の作成、鑑賞に親しむ	・親しみやすい語句や詩歌のリズムに親しむことができる ・俳句の約束を理解し、作成することができる	・上の句と、下の句の関係を知り、楽しむことができる ・俳句を読んだり聞いたりして、気持ちや表現をくみ取ることができる	・積極的に参加しようとしている
3月					



数学

（ 数学科 ）教育内容及び年間指導計画

教科 目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える力を育てる	教科で育てたい資質 能力	生活の中で使える数学的な力
----------	---------------------------------------	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	数量や図形などについての意味や性質を理解し、計算などの基本的な技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	数学の楽しさやよさを実感し、粘り強く考えたり、数学を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 数学の知識を利用して、日常の事柄について考えたり、表現したりしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	主体的に知識・技能の内容を身に付けようとしていたり、学んだことを日常生活に生かそうとしていたりしている。

(Ⅰ) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期 (月)	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	数と計算	数の種類	・数の特徴や意味を理解している ・数の大小を不等号を使って表すことができる。	数の種類や特徴に着目して、目的に合った数の表し方を考えている。	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えるようとしている。 ・数学の良さに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
		数の大小			
		少数・分数			
5,6		加法・減法	・四則のそれぞれの計算方法を理解している。 ・整数の四則の計算ができる。	計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。	
		乗法・除法			
		四則混合計算			
7,8		() のついた計算	計算の順序を理解し、計算ができる。	計算に関して成り立つ性質を用いて、計算の方法を考えている。	
		単元のまとめ			
9	時刻と時間	時刻と時間	時刻と時間について違いを知り、表し方を理解する。	時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方を考察している。また、日常生活を早期して、計算したり考えたりしている。	
		時計の読み方			
		時間の求め方			
10		時刻の求める	・時刻を読み取ることができる。 ・時刻から時間を求めることができる。		
		単元のまとめ			
10	資料の活用と整理	代表値	代表値について理解し、代表値を求めることができる。	目的に応じてデータを整理し、代表値をもとにデータを考察している。	
		代表値の求め方			
		関数について			
11		関数と代表値	・関数を利用して代表値をもとめることができる。 ・PCを用いて大量の資料を処理することができる。	収集したデータを目的に応じて、関数を用いて分析している。	
		資料の整理			
		単元まとめ			
12	図形と長さ	図形の種類	図形の種類について知り、特徴について理解する。	図形間の関係に着目し、図形の性質を見出したしている。	
		平面図と立体			
		図形の特徴			
1		長さ単位	・単位について知り、測定の意味を理解する。 ・面積の単位と求め方を理解し、計算して求めることができる。	身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で大きさを的確に表現したり、比べたりしている。	
		長さの図り方			
		図形の大きさ			
2,3		図形の展開図	どの図形の展開図か理解する。	図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、身の回りのものの形を図形として捉える。	

(数学科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える力を育てる。	教科で育てたい資質 能力	生活の中で使える数学的な力
----------	--	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	数量や図形などについての意味や性質を理解し、計算などの基本的な技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	数学の楽しさやよさを実感し、粘り強く考えたり、数学を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 数学の知識を利用して、日常の事柄について考えたり、表現したりしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	主体的に知識・技能の内容を身に付けようとしていたり、学んだことを日常生活に生かそうとしていたりしている。

(2)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期 (月)	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	数と計算	加法減法 乗法除法 四則混合計算	整数の四則混合の式や()のついた式について理解し、正しく計算できる。	計算に関して成り立つ性質を用いて計算の方法を考えている。	・自らの状態や学習状況に応じて支援要求や質問をしようとしている。 ・数学の良さに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
7 8 9	数と計算	倍数、公倍数 約数、公約数 分数の計算	整数、小数、分数及び概数の意味と表し方について理解している。	計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。	
9 10	重さ	単位 測り方 比較	単位量当たりの大きさの表し方を理解している。	目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考えている。	
10 11 12	データの活用	データの収集 データの分類とグラフ	表やグラフで表したり、読んだりすることができる。	問題を解決するために適切なグラフを選択している。	
2 3	図形	平面図形と立体 図形の展開図 図形の大きさ 立体図形	図形の種類について知り、特徴について理解する。 直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。	図形間の関係に着目し、図形の性質を見出したしている。 基本図形の面積体積の求め方を計算式で表している。	

(数学科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える力を育てる	教科で育てたい資質 能力	生活の中で使える数学的な力
----------	---------------------------------------	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	数量や図形などについての意味や性質を理解し、計算など数学的に処理する基本的な技能を身に付ける。
(2) 思考力判断力表現力等	日常の事象を数学的にとらえ、見通しをもち、筋道を立てて考える力、数学的な表現を用いて事象を簡潔明瞭に表現する力を養う。
(3) 学びに向かう力人間性等	数学の楽しさや良さを実感し、粘り強く考えたり、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

(3) 年	年間計画と評価	学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
-------	---------	------	---------	---------	---------

時期 (月)	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	数と計算	加法・減法	整数の四則計算ができる。	計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。	・自らの状態や学習状況に応じて、支援要求や質問をしようとしている。 ・数学の良さに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
		乗法・除法			
		四則混合計算	整数の四則混合の式や()のついた式についての計算方法を理解する。	計算に関して成り立つ性質を用いて、計算の方法を考えている。	
5	単位	容量の単位	単位の意味や関係性を知り、測定の意味を理解する。	単位を変換したり、目的に適した単位で量の大きさを表現したりしている。	
		単位の関係性			
6	面積	面積の単位	面積の単位や求め方について知り、計算ができる。	図形の面積について、求め方を考えたり、計算して大きさを表したりしている。	
		面積の求め方			
7 8	小数	小数について	小数の仕組みや表し方について理解する。 小数の計算方法を知る。	小数の性質について理解し、日常生活に結び付けることができる。	
		小数の加法・減法	小数の計算方法を知り、正しく計算ができる。	計算に関して成り立つ性質を用いて、計算の方法を考えている。	
		小数の乗法・除法			
9 10 11	データの活用	グラフについて	グラフの種類や特徴について知る。	さまざまなグラフを日常生活に関連付けて考えることができる。	
		棒グラフ	棒グラフを読む・書くができる。		
		折れ線グラフ	折れ線グラフを読む・書くができる。		
12 1 2	お金の計算	家計簿	収支の意味や家計簿の記入方法について理解する。	より良い計算方法を考えることができる。	
		割引	割引の計算方法を理解する。	割引の計算を日常生活に活用できる。	

An abstract graphic at the top of the page consists of several overlapping, wavy bands of green. The colors range from a light, pale green to a medium green, with the bands curving and flowing across the upper portion of the image.

理科

(理科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	自然の仕組みや働きなどについて学び科学的な見方や考え方を養うとともに自然を大切にする態度を育てる	教科で育てたい資 質能力	科学的な見方考え方ができる力
----------	--	-----------------	----------------

観
点

(1) 知識及び技能等	・自然の物や起きたことについて理解するとともに、観察、実験などの基本的な技能を身に付けるようにする
(2) 思考力判断力表現力等	・観察実験などを行い根拠に基づいた考えをつくりだす力を養う
(3) 学びに向かう力人間性等	・自然を愛する心を育て学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う

(2) 年 年間計画と評価	学年目標	1 年 基礎試行 2 年 選択発展 3 年 深化決定
---------------	------	----------------------------------

時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4 月	・オリエンテーション ・顕微鏡の使い方	教科の目標学年目標年間計画 顕微鏡の使い方	・顕微鏡の使い方を身に付ける。	・安全第一を意識した行動ができる。	・主体的に授業に参加しようとする。
5 6 7 月	・植物のからだづくり ・動物のからだづくり	植物と動物のからだのつくりを知る。 ツツジの分解 植物の分類 動物の分類	・植物と動物のからだのつくりを知る。	・植物と動物のからだのつくりの違いを考える。	・日常生活で出会う動植物の分類を考えようとする。
9 10 11 月	・身の回りの物質とその性質	気体の性質を知る。 ・酸素・二酸化炭素の発生 ・ガスバーナーの使い方	・気体の補修方法を身に付ける。	・捕集した気体がどのような性質をもつか考える。	・日常生活の中で気体の性質について考えようとする。
12 月	・光・音・力による現象 ・てこの規則性と応用	音の伝わり方や光の性質を理解する。 てこの原理を知る。 音叉や糸電話を使った実験 てこの原理を利用した実験	・音や光の性質について理解する。 ・てこの原理を理解する。	・光や音の性質から音の伝わり方や光の反射について考える。 ・てこの原理が使われている物を考える。	日常生活の中で光やてこの原理の恩恵を受けているものを考える。
3 月	・土地のつくりと動き ・一年のまとめ	土地のつくりを学ぶ 知識の確認 火山について 今年度の復習	・火山のつくりを知る。 ・復習により知識を確認する。	・理科で自分なりに身に付けられたものについて考えようとしている。	・主体的に振り返り、今後に生かそうとしている。

(理科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目 標	自然の仕組みや働きなどについて学び科学的な見方や考え方を養うとともに自然を大切にする態度を育てる	教科で育てたい資質 能力	科学的な見方考え方ができる力
--------------	--	-----------------	----------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・自然のもののや起きたことについて理解するとともに、観察、実験などの基本的な技能を身に付けるようにする
(2) 思考力判断力表現力等	・観察実験などを行い根拠に基づいた考えをつくりだす力を養う
(3) 学びに向かう力人間性等	・自然を愛する心を育て学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う

(2) 年 年間計画と評価

学年目標

1年 基礎試行

2年 選択発展

3年 深化決定

時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	・オリエンテーション ・1年の復習	教科の目標学年目標 年間計画 1年の復習	・復習により知識を確認する。	・理科で自分なりに身に付けたいものを考えようとしている。	・主体的に参加し期待感をもつ。
5 6 7月	・燃焼の仕組み ・化学変化と原子分子	燃焼・冷却の仕組み・実験 燃焼冷却に伴う化学変化と原子分子	・燃焼冷却の仕組みの理解を図り実験に関する初歩的な技能を身に付ける。	・燃焼冷却の仕組みについて調べる中で根拠に基づいた考えをつくり出そうとしている。	・燃焼冷却の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。
8 9 10月	・地球の大気と天気の変化 ・雲の種類	雲の様子や気象情報分析等 地層の成り立ち・地震と火山による変化	・気象現象の規則性、地殻と地震等についての理解を図り実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。	・気象現象の規則性、地殻と地震等について調べる中で根拠に基づいた考えをつくり出そうとしている。	・気象現象の規則性、地殻と地震等について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。
11 12 1月	・電流とその性質 ・静電気 ・磁石	電子・電流とその性質 電気と私たちの生活 静電気 磁石	電流の働きや電気についての理解を図り実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。	・電流の働きや電気について調べる中で根拠に基づいた考えをつくり出そうとしている。	・電流の働きや電気について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。
2 3月	・地震と火山 ・2年生のまとめ	知識の確認 今年度の復習	・復習により知識を確認する。	・理科で自分なりに身に付けられたものについて考えようとしている。	・主体的に振り返り、今後に生かそうとしている。

(理科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	自然の仕組みや働きなどについて学び科学的な見方や考え方を養うとともに自然を大切にする態度を育てる	教科で育てたい資 質能力	科学的な見方考え方ができる力
----------	--	-----------------	----------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・自然のものの起きたことについて理解するとともに、観察、実験などの基本的な技能を身に付けるようにする
(2) 思考力判断力表現力等	・観察実験などを行い根拠に基づいた考えをつくりだす力を養う
(3) 学びに向かう力人間性等	・自然を愛する心を育て学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う

(2)年 年間計画と評価

学年目標

1年 基礎試行

2年 選択発展

3年 深化決定

時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7 月	化学変化とイオン	電流が流れる水溶液	水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともにそれらの観察、実験に関する技能を身に付けている。	水溶液や化学変化について、実験を行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見出して表現している。	水溶液や化学変化とイオンに関する事象・現象に進んでかかわり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
		イオンと電池			
		いろいろな電池			
		酸とアルカリ			
8 9 10 月	生命のつながり	生物の細胞と個体	生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、観察、実験に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物と細胞、体のつくりと働きについて観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性を見出して表現している。	生物と細胞、体のつくりと働きについて振り返ったりするなど科学的に探求しようとしている。
		生物の成長とふえ方			
		遺伝の規則性と遺伝子			
		体のつくりとはたらき			
11 12 月	運動とエネルギー	仕事とエネルギー	仕事とエネルギーについての基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに観察・実験に関する技能を身に付けている。	仕事とエネルギーについて実験を行い、その結果から規則性や関係性を見出して表現している。	仕事とエネルギーに関する事象に・現象に関わり、それについて振り返ったりするなど科学的に探求しようとしている。
12月	地球と宇宙	太陽系のすがた	太陽系と惑星についての基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに観察・実験に関する技能を身に付けている。	太陽系と惑星について観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性を見出して表現している。	太陽系と惑星に関する事象に・現象に関わり、それについて振り返ったりするなど科学的に探求しようとしている。

An abstract graphic at the top of the page consists of several overlapping, wavy, organic shapes in various shades of green, ranging from a light lime green to a darker forest green. These shapes create a sense of movement and depth, resembling stylized hills or flowing water.

社会

(社会科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	社会の仕組みと人々の生活、世の中の移り変わりや地域社会についての基本的な理解を深め、多角的に物事を考える力を培う。	教科で育てたい資質 能力	多角的に物事を考える力
----------	---	-----------------	-------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	日本や世界の地理や歴史、政治や経済について知り、その意味や仕組みを調べたりまとめたりしている。
(2) 思考力判断力表現力等	社会的な事柄をいろいろな資料を基にして考えたり、考えたことを適切に表現したりしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	社会的な事柄への興味を高め、生活に生かそうとしたり、さまざまな考え方を尊重しようとしていたりしている。

(1) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	教科の目標	・1年間で学習内容を 確認する。	・社会で、自分なりに身 に付けたいもの考える ことができる。	・これから学ぶ内容に関心 を持ち、主体的に取り組も うとしている。
		1年間の学習内容	・社会科を学習する意 味について知る。		
		社会科を学習する理由			
4 ・ 5	地理の基礎	世界のすがた	・世界の大陸と州、海洋の位置と名称を 理解している。	・日本の位置の良いところと悪 いところを、資料や話し合いな どをもとに多面的・多角的に考 察し、表現している。	・世界と日本のおおまかな位 置や様子、方角などに関心を 持ち、地図などを活用して、そ れらの事象を主体的に追究し ようとしている。
		日本のすがた	・方角を理解している。 ・日本の地方区分や領土をめぐる問題 などを理解している。		
5	横浜市の地理	基本データ	・横浜市の自然・観光・産業 などについて理解している。	・横浜市が発展した理由などを 資料や話し合いをもとに考え、 表現している。	・横浜市の特色について関心 を持ち、主体的に取り組もうと している。
		交通網	・横浜市の大きな歴史につ いて理解している。		
		歴史的背景			
6 ・ 7	北海道地方	自然環境	・北海道地方の自然環境 や産業・観光業などにつ いて理解している。	・産業や人々の生活などを、 自然環境と関連付けて多 面的・多角的に考察し、表 現している。	北海道地方について、自然環 境を生かした生活や産業の特 色や工夫を、主体的に追及し ようとしている。
		産業・観光			
		観光地			
7 ・ 8 ・ 9	東北地方	自然環境	・東北地方の自然環境や 産業・観光業などにつ いて理解している。	・産業や人々の生活などを、 自然環境や交通網と関連 付けて多面的・多角的に考 察し、表現している。	東北地方について、自然環境 や交通網の視点から地域の 特色や工夫を、主体的に追及 しようとしている。
		産業・観光			
		観光地			
夏 休み	夏の課題 (自然・気象災害)	災害の種類	・日本の自然災害や気象 災害が多いことを理解し ている。	・自然災害や気象災害が日本で多い理由 について、自然環境の視点から多面的・ 多角的に考察している。 ・災害対策を、自助・共助・公助の視点か ら考察している。	様々な自然災害や気象災害 などから身を守るために、地 域で必要な対策や準備につ いて、主体的に考察し、追及し ている。
		災害の備え			
9 ・ 10	関東地方	自然環境	関東地方の自然環境 や産業の特色、人口の 集中について理解して いる。	人口が集中する理由を産 業や自然環境の特色など に着目し、多面的・多角的 に考察し、表現している。	関東地方について、自然環境 や人口集中の視点から産業 の特色や工夫を、主体的に追 及しようとしている。
		産業・観光			
		観光地			
10 ・ 11	中部地方	自然環境	中部地方の3つの地域 の自然環境や産業の 特色について理解して いる。	産業が発達した背景に ついて、多面的・多角的 に考察し、表現している。	中部地方について、自然環境 の課題の克服に関する人々の 工夫や努力に関心をもち、主 体的に追究しようとしている。
		産業・観光			
		観光地			
11 ・ 12 ・ 1	近畿地方	自然環境	近畿地方の自然環境 や歴史的景観の保全な どの特色について理解 している。	自然環境や歴史的景観の保全 に関わる取り組みを、人々の生 活や産業の変化などから多面 的・多角的に考察し、表現し ている。	近畿地方について、自然環境 や歴史的景観の保全に向け ての課題などに関心をもち、 主体的に追及しようとしてい る。
		産業・観光			
		観光地			
1 ・ 2	中国・四国地方	自然環境	中国・四国地方の交通・通信網に よる結びつきの変化と、それに関 連する産業や生活の変化につ いて理解している。	人や物の移動の量や方向、 人々の工夫や努力などと有機 的に関連づけて、多面的・多角 的に考察し、表現している。	中国・四国地方について、交通・通 信網の整備に伴う産業の発展や地 域の活性化に向けた努力などに 関心をもち、主体的に追究しよ うとしている。
		産業・観光			
		観光地			

3	まとめ	振り返り	・今まで学習した内容を理解している。	・今まで身に付けた学習内容をもとに、様々な課題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを文章で表現している。	・今まで学習した内容をもとに、よりよい社会を築いていくために、主体的に取り組もうとしている。

(社会科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	社会の仕組みと人々の生活、世の中の移り変わりや地域社会についての基本的な理解を深め、 多角的に物事を考える力を培う	教科で育てたい資質 能力	多角的に物事を考える力
----------	--	-----------------	-------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等		日本や世界の地理や歴史、政治や経済について知り、その意味や仕組みを調べたりまとめたりしている。				
(2) 思考力判断力表現力等		社会的な事柄をいろいろな資料を基にして考えたり、考えたことを適切に表現したりしている。				
(3) 学びに向かう力人間性等		社会的な事柄への興味を高め、生活に生かそうとしたり、さまざまな考え方を尊重しようとしていたりしている。				
(2) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行		2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点			
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月 ～ 5月	四国地方・中国地方	地形・自然環境	四国地方・中国地方の自然・観光・産業などについて理解を深める	四国地方・中国地方について考えたことをもとに判断したり、説明したりしている	四国地方・中国地方に関心をもち主体的に取り組もうとしている	
観光地						
産業・農業						
6月 ～ 7月	九州・沖縄地方	地形・自然環境	九州地方・沖縄地方の自然・観光・産業などについて理解を深める	九州地方・四国地方について考えたことをもとに判断したり、説明したりしている	九州地方・沖縄地方に関心をもち主体的に取り組もうとしている	
観光地						
産業・農業						
6月 ～ 7月	世界の国・調べ学習	各国の特色	世界の国々の特色や観光地・食べ物・文化について理解を深める	課題について、さまざまな情報を選択し、自分の意見を説明している。	世界の国々の特色について主体的に追求しようとしている	
観光地						
食べ物・文化						
8月 ～ 9月	修学旅行事前学習 長崎県	長崎の観光地	長崎県の市内観光について歴史・文化・交通について知識を深める	長崎県の市内観光についてさまざまな情報を選択し、自分の意見を説明している。	長崎県の市内観光について関心をもち主体的に取り組もうとしている	
交通アクセス						
歴史・文化						
8月 ～ 9月	歴史・基礎	年表	年表・時代区分・特色について知識を深める	年表・時代区分・時代特色について考えたことをもとに判断したり、説明したりしている	年表・時代区分・時代特色について主体的に取り組もうとしている	
時代区分						
時代特色						
10月	日本近現代① 江戸末期・明治時代	江戸時代末期	江戸時代・明治時代の特色や政治について知識を深める	江戸時代・明治時代の特色や政治について考えたことをもとに判断したり、説明したりしている	江戸時代・明治時代の特色や政治について関心をもち主体的に取り組もうとしている	
新政府の政治						
時代の特色						
11月	歴史・調べ学習 人物像	時代の人物	江戸末期～昭和にかけて活躍した人物についての知識を深める	課題について、さまざまな情報を選択し、自分の意見を説明している	江戸末期～昭和にかけて活躍した人物について主体的に追求しようとしている	
時代の特色						
12月	日本近現代② 大正・昭和時代	第1次世界大戦	大正時代～昭和時代の世界大戦や関東大震災について知識を深める	大正時代～昭和時代の世界大戦や関東大震災について考えたことを説明したりしている	大正時代～昭和時代の世界大戦や関東大震災について関心をもち主体的に取り組もうとしている	
関東大震災						
第2次世界大戦						
1月 ～ 2月	修学旅行事前学習 長崎平和教育	長崎の地理・文化	第2次世界大戦での原爆投下について知識を深める	第2次世界大戦での原爆投下についてさまざまな情報を選択し、自分の意見を説明している。	第2次世界大戦での原爆投下について関心をもち主体的に取り組もうとしている	
原爆投下						
平和教育						
2月 ～ 3月	日本近現代③ 昭和時代	戦後の日本	戦後の日本についてまた、これからの課題について知識を深める	戦後の日本について考えたことをもとに判断したり、説明したりしている	戦後の日本について関心をもち主体的に取り組もうとしている	
これからの課題						

(社会科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	社会の仕組みと人々の生活、世の中の移り変わりや地域社会についての基本的な理解を深め、多角的に物事を考える力を培う。	教科で育てたい資質 能力	多角的に物事を考える力
----------	---	-----------------	-------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	日本や世界の地理や歴史、政治や経済について知り、その意味や仕組みを調べたりまとめたりしている。
(2) 思考力判断力表現力等	社会的な事柄をいろいろな資料を基にして考えたり、考えたことを適切に表現したりしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	社会的な事柄への興味を高め、生活に生かそうとしたり、さまざまな考え方を尊重しようとしていたりしている。

(3) 年 年間計画と評価		学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	教科の目標 1 年間の学習内容 公民とは??	・1 年間で学習内容を 確認する。 ・公民の意味について 知る。	・社会で、自分なりに身 に付けたいものを考える ことができる。	・これから学ぶ内容に関 心を持ち、主体的に取り 組もうとしている。
4 ・ 5 ・ 6	大正・昭和時代	第一次世界大戦・ 関東大震災 戦後の日本	・大正時代～昭和時代の 世界大戦や関東大震災につ いて知識を深め ・戦後の日本について また、これからの課題につ いて知識を深める	・大正時代～昭和時代の世 界大戦や関東大震災につ いて考えたことを説明したり している ・戦後の日本について考え たことをもとに判断したり、 説明したりしている	・大正時代～昭和時代の世 界大戦や関東大震災につ いて関心をもち主体的に取り 組もうとしている ・戦後の日本について関心 をもち主体的に取り組もうと している
6 ・ 7	選挙制度と課題	日本の選挙制度 選挙制度の課題	・普通選挙の原則や 国政、市政選挙の仕 組みを理解している。	・投票率の低下や一票の 格差の問題など、日本の 選挙制度の課題を資料 をもとに多面的・多角的 に考察し、表現している。	・18歳以上に選挙権が あることを認識し、選挙制 度や課題について主体的 に追究しようとしている。
夏休み ・ 8	日本国憲法と基本的人 権の尊重	憲法の意義 国民主権と平和主義	・日本国憲法や基本 的人権の概要や意 義を理解している。	・人権が広まってきた理 由や新しい人権が登場 した背景を、社会の変化 などから多面的・多角的 に考察し、表現している。	・個人の尊重の考え方や 日本国憲法の基本原則 などについて、現代社会 にみられる課題の解決を 視野に主体的に社会に 関わろうとしている。
8 ・ 9 ・ 10	日本国憲法と基本的 人権の尊重 政治	基本的人権 国会・内閣・裁判所 地方自治と手続き	・国や地方の政治の 仕組みや働きにつ いて理解している。	・国や地方の政治の機 関が抱える課題につ いて、資料をもとに多面的・多 角的に考察して、表現し ている。	・国や地方の政治につ いて、現代社会にみられる 課題の解決を視野に主 体的に社会に関わろうと している。
11 ・ 12 ・ 1	経済	税金、金融、保険 消費と契約 企業と労働	・身近な消費生活を中 心に、経済活動の意義や保 険、財政、労働などにつ いて理解している。	・様々な経済活動にお ける役割や責任につ いて多面的・多角的に考 察し、表現している。	・身近な消費生活や経済 活動の意義や保険、財 政、労働の役割につ いて、現代社会にみられる課題 の解決を視野に主体的 に社会に関わろうとし ている。
2	まとめ	1 年間のまとめ 3 年間のまとめ	・今まで学習した内 容を理解している。	・今まで身に付けた学習 内容をもとに、様々な課 題を多面的・多角的に考 察し、自分の考えを文章 で表現している。	・今まで学習した内容を もとに、よりよい社会を築 いていくために、主体的 に取り組もうとしている。
3					



英語

英語科 教育内容及び年間指導計画

教科目標	日本語と外国語の違いを知り、聞くこと、話すこと、書くこと、読むことを通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、外国の生活や文化への理解を深める。	教科で育てたい資質能力	コミュニケーションのための基礎的技能を活用する力
------	--	-------------	--------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・簡単な英語を聞いたり書いたり話したりしている。 ・英語圏の文化や習慣に関心をもっている。
(2) 思考力判断力表現力等	・資料などを使って簡単な語句や文の意味について考えている。 ・自分のことや身近な話題を簡単な英語で伝えている。
(3) 学びに向かう力人間性等	・言語や文化に対する関心を持ち、すすんで英語を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。

1年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
年間を通して	日常的に使う英語	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと[やりとり] 号令、出欠、日常的な挨拶(感情や状態を表す語など) 日付・曜日・天候など	・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が伝わることに気付いている。	・身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて英語で表現したり、自分の気持ちなどを伝えたりしている。	・音声で慣れ親しんだ英語を用いて、自らコミュニケーションを図ろうとしている。
	歌	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 話すこと 読むこと	・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだりして、日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。	・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら、音声を聞いて話したり、活字体で書かれた文字を読んだり発音したりしている。	・英語や英語の歌に関心をもっている。
	アルファベットや身近な語	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 話すこと 書くこと 読むこと 自分の名前 季節や行事、日常生活に関する身近な語など	・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして、日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。	・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら、音声を聞いて話したり、活字体で書かれた文字を読んだり、書写したりしている。	・身近な事柄を表す語や表現に関心をもっている。
	英会話活動	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと[やりとり] 書くこと 質問文を作り、インタビューをする、ワークシートを見ながら会話やゲームをするなど	・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が伝わることに気付いている。	・簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて、英語で表現したり、伝え合ったりしている。	・音声で慣れ親しんだ英語を用いて、自らコミュニケーションを図ろうとしている。
4月 5月 6月	自己紹介 他己紹介 身近な英単語	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと[発表] 読むこと 簡単なスピーチ文を作り、自分自身について伝える	・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が伝わることに気付いている。	・簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて伝え合っている。	・音声で慣れ親しんだ英語を用いて、自ら伝えようとしている。
10月 12月 1月	文化・慣習	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 話すこと 読むこと ハロウィン、クリスマス、新年について	・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだりして、日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。	・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら、音声を聞いて話したり、活字体で書かれた文字を読んだり発音したりしている。	・外国の生活や文化に関心をもっている。

英語科 教育内容及び年間指導計画

教科目標	日本語と外国語の違いを知り、聞くこと、話すこと、書くこと、読むことを通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、外国の生活や文化への理解を深める。	教科で育てたい資質能力	コミュニケーションのための基礎的スキルを活用する力
------	--	-------------	---------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・簡単な英語を聞いたり書いたり話したりしている。 ・英語圏の文化や習慣に関心をもっている。
(2) 思考力判断力表現力等	・資料などを使って簡単な語句や文の意味について考えている。 ・自分のことや身近な話題を簡単な英語で伝えている。
(3) 学びに向かう力人間性等	・言語や文化に対する関心を持ち、すすんで英語を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。

1年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
年間を通して	日常的に使う英語	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと ・号令、出欠、日常的な挨拶(感情や状態を表す語など) 日付・曜日・週末の出来事についての尋ね方など	・日常的に使う英語を聞いたり、見本や資料を参考に、話したりすることができる。 ・英語圏の挨拶習慣に関心をもつことができる。	・資料を参考に、簡単な語句や文の意味について考えることができる。 ・自分のことを簡単な英語で伝えることができる。	・挨拶などの日常的に使う英語に関心を持ち、すすんでコミュニケーションを取ることができる。
	英語の歌	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 話すこと	・英語の歌を聞いたり、歌詞を見ながら歌おうとしたりすることができる。 ・歌を通して、英語圏の文化に関心をもつことができる。	・英語の歌詞と日本語訳を比べ、簡単な語句や文の意味について考えることができる。	・英語の歌に関心をもって聞いたり、すすんで歌おうとしたりすることができる。
	英会話活動	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと 書くこと 自己紹介 インタビュー プレゼンテーション ゲーム など	・簡単な英語を聞いたり、資料を参考に、書いたり話したりすることができる。 ・ゲームなどを通して、英語圏の文化に関心をもつことができる。	・資料を参考に、簡単な語句や文の意味について考えることができる。 ・自分のことや身近な話題について簡単な英語で伝えることができる。	・英会話活動やゲームに関心を持ち、すすんで英語を使ってコミュニケーションを取ることができる。
4・5月 6・7月 9月 1月	季節に関する身近な語	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 話すこと 書くこと ・四季や行事、夏休み、冬休みに関する語 など	・簡単な英語を聞いたり、資料を参考に、書いたり話したりすることができる。	・資料を参考に、簡単な語句や文の意味について考えることができる。 ・自分のことや身近な話題について簡単な英語で伝えることができる。	・身近な語や話題に関心を持ち、すすんで英語を使ってコミュニケーションを取ることができる。
10月 11月 12月	文化・習慣	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 話すこと 書くこと ハロウィン、サンクスギビング、クリスマスなど英語圏の文化や習慣など	・簡単な英語を聞いたり、資料を参考に書いたり話したりすることができる。 ・英語圏の文化や習慣に関心をもつことができる。	・資料を参考に、簡単な語句や文の意味について考えることができる。 ・自分のことを簡単な英語で伝えることができる。	・文化や習慣に関心を持ち、すすんでコミュニケーションを取ることができる。
2・3月	旅行に関する英語	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと 乗り物やレストランなどで使う英語など	・旅行に関する簡単な英語を聞いたり、見本や資料を参考に、話したりすることができる。	・資料を参考に、簡単な語句や文の意味について考えることができる。 ・自分のことを簡単な英語で伝えることができる。	・旅行に関する会話表現に関心を持ち、すすんで英語を使ってコミュニケーションを取ることができる。

英語科 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	日本語と外国語の違いを知り、聞くこと、話すこと、書くこと、読むことを通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、外国の生活や文化への理解を深める。	教科で育てたい資質能力	コミュニケーションのための基礎的スキルを活用する力
----------	--	-------------	---------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・簡単な英語を聞いたり書いたり話したりしている。 ・英語圏の文化や習慣に関心をもっている。
(2) 思考力判断力表現力等	・資料などを使って簡単な語句や文の意味について考えている。 ・自分のことや身近な話題を簡単な英語で伝えている。
(3) 学びに向かう力人間性等	・言語や文化に対する関心を持ち、すすんで英語を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。

3年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
年間を通して	日常的に使う英語	【情報を整理して表現すること】 話すこと[やりとり] 挨拶や体調・過ごし方などを尋ね合う	・毎日の挨拶時に、簡単な語句や基本的な表現を用いて会話をする。	・身近で簡単な事柄について、情報を整理しながら表現している。	・音声で慣れ親しんだ英語を用いて、自らコミュニケーションを図ろうとしている。 ・場面や状況に応じて簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の気持ちなどを伝えようとしている。
	歌	【英語の特徴に関すること】 聞くこと 読むこと	・英語の音声や文字・表現が日本語と違うことを理解する。	・活字体で書かれた文字を見て発声している。	・英語や英語圏の文化への関心を持ち、曲を通して習得しようとしている。
4月	自己紹介	【情報を整理して表現すること】 話すこと[発表] 自分自身について伝える	・簡単な語句や基本的な表現を知り、それらを使うことで自分自身のことを相手に伝えようとしている。	・伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分自身のことを伝えている。	・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分自身についての情報を伝えようとしている。
5～6月 10～11月	スライド作り	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと[発表] 書くこと 読むこと 3ヒントクイズ 外国の紹介	・さまざまな場面で、簡単な語句や基本的な表現などが表す内容をChromebookを用いて調べ、それらを使うことでクイズの内容や外国について伝えようとしている。	・簡単な事柄について、調べた情報を整理しながら、クイズや紹介文を作って発表している。	・外国語の背景にある文化などについて理解を深め、内容に配慮しながら伝えようとしている。 ・仲間の発表も関心をもって聞き、理解を深めようとしている。
7月 9月 1月 2月	英会話活動	【情報を整理して表現すること】 聞くこと 話すこと[やりとり] 休みの予定 休みにしたこと 将来の予定	・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えようとしている。	・伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを相手と伝え合っている。 ・身近で簡単な事柄について、情報を整理しながら考えを形成し表現している。	・音声で慣れ親しんだ英語を用いて、自らコミュニケーションを図ろうとしている。 ・場面や状況に応じて簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えなどを伝えようとしている。
12月	グリーティングカード	【英語の特徴に関すること】 書くこと 読むこと	・英語の文字・表現が日本語と違うことを知っている。 ・英語の文字を見て読んだり書いたりして、メッセージを伝える働きを知っている。	・メッセージで伝えたい内容について考え、想像しながら書いたりしている。	・日常生活で見聞きする語や表現に興味をもち、習得しようとしている。



音樂

(音楽科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	人と調和し自由な表現を通して豊かな人生を育む力
----------	---	-----------------	-------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 思考力判断力表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

() 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	オリエンテーション [歌唱] ・発声練習 ・校歌	自己紹介 発声練習 校歌	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作・身体表現で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現の学習活動に取り組もうとしている。
5月	[歌唱] ・外国の歌 [器楽] ・アルトリコーダーの指使い [鑑賞] ・カンツォーネ	サンタ・ルチア アルトリコーダーの指使い オーソレ・ミーオ 帰れソレントへ			
7月	[歌唱] ・日本歌曲 [器楽] ・ミッキーマウスマーチ	浜辺の歌 ミッキーマウスマーチ			
9月	[身体表現] ・指揮 [歌唱] ・歌謡曲 [器楽] ・ミッキーマウスマーチ	校歌の指揮 少年時代 ミッキーマウスマーチ			
11月	[歌唱] ・合唱曲 [身体表現] ・指揮 [器楽] ・校歌 [鑑賞] ・様々な音楽	マイバラード 校歌の指揮 校歌 歌謡曲 合唱曲			
12月					
1月					
2月					
3月	まとめ	一年間の振り返り			

(音楽科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	人と調和し自由な表現を通して豊かな人生を育む力
----------	---	-----------------	-------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 思考力判断力表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

(2)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4・5月	オリエンテーション [歌唱] ・「校歌」 ・「春よ来い」 [身体表現] ・ボディーパーカッション	自己紹介 歌唱 身体表現	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作・身体表現で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現の学習活動に取り組もうとしている。
6・7月	[歌唱] ・「夏の思い出」 [器楽] アルトリコーダー「聖者の行進」 [身体表現] ボディーパーカッション	歌唱 器楽 身体表現			
8・9 10月	[歌唱] ・「翼をください」 ・「大切なもの」 [鑑賞] ・「ボレロ」	歌唱 鑑賞			
11・ 12月	[歌唱] ・「遠い日の歌」 [器楽]アルトリコーダー ・「カノン」 ・「きよしこの夜」	歌唱 器楽			
1・2 月	[歌唱] ・「遠い日の歌」 ・「旅立ちの日に」	歌唱			
3月	1年間のまとめ				

(音楽科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	人と調和し自由な表現を通して豊かな人生を育む力
----------	---	-----------------	-------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 思考力判断力表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

(3)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
通年 4月 ～ 9月 10月 ～ 2月	[歌 唱] 発声練習 「校歌」 「花」 「希望という名の花を」 「エーデルワイス」 「旅立ちの日に」 「あなたへ」	校歌 日本の歌 諸外国の歌 合唱曲	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作・身体表現で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現の学習活動に取り組もうとしている。
4月 ～ 2月 10月	[器 楽] リコーダー 「校歌」「エーデルワイス」「きらきら星」 ドンミューロ曲集 和楽器	メロディー楽器 リズム楽器 和楽器			
4月 ～ 2月	[創 作] ボディパーカッション [身体表現] 指揮 ボディパーカッション	音楽づくり 指揮 ボディパーカッション			
4月 ～ 8月 9月 ～ 2月	[鑑 賞] 「春」 「交響曲第5番」 「サウンドオブミュージック」 「土の歌」 「わが愛の譜」	日本の音楽 諸外国の音楽 オーケストラ ミュージカル オペラ 映画音楽			



家庭科

(家庭科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	生活をよりよく向上させる力
----------	---	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	家庭や地域における生活からの問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。
(3) 学びに向かう力人間性等	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けようとしている。

(1) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	わたしの家庭生活	これまでの家庭生活	今までの家庭生活を振り返り、整理することができる。	整理したものから、自分の良い点や改善点を考え、表現している。	振り返りを通して、今後どのように学習していきたいかを見いだしている。
5	被服	縫い方の基礎	用具の安全な取り扱いについて理解し、作業が適切にできる。	適切に作業を行うための方法について考え、工夫している。	作業を通して、より良い方法を考えたり、今後に生かそうとしている。
6	食事と健康	調理の基礎	簡単な調理の仕方や手順について知り、行うことができる。	簡単な調理計画について考え、表現している。	実習を振り返って、改善しようしたり、今後に生かそうとしている。
7	被服	衣服の役割と選択	衣服の役割を知り、衣服を選ぶ上でのポイントを理解している。	衣服の選択について考え、工夫している。	日常生活の中で、適切な衣服の選択を実践しようとしている。
8,9	被服	小物の製作	目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。	簡単な製作計画について考え、表現している。	製作を振り返って、改善点を考えたり、今後に生かそうとしている。
10	食事と健康	栄養を考えた食事	栄養素の種類と主な働きがわかり、食品の栄養的な特徴を理解できる。	基礎的な調理において、食品の選択や調理の仕方を考え、工夫している。	実習を振り返って、食品の選び方や調理の仕方を見直そうとしている。
11~1	被服	布を用いた製作	製作する物に適した材料や縫い方がわかり、製作が適切にできる。	製作に必要な手順をふまえ、製作計画を考え、工夫している。	製作に向けた活動を振り返って、改善しようしたり、今後に生かそうとしている。
2	食事と健康	栄養と献立	栄養素の種類と主な働きがわかり、食品の栄養的な特徴を理解できる。	一食分の献立について考え、工夫している。	実習を通して、改善点に気付いたり、自分の食生活を振り返り、見直そうとしている。
3	ライフスタイルと環境	商品の選択と購入	購入方法と支払い方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。	商品を購入する時のトラブルを避ける方法を考え、表現している。	商品を購入する際の課題から、自分の消費生活を振り返り、見直そうとしている。

(家庭科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	よりよい生活を送るための力
----------	---	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・家族、家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
(2) 思考力判断力表現力等	・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現するなど課題を解決する力を付ける。
(3) 学びに向かう力人間性等	・家族や地域の人々との関りを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようと考えようとする実践的な態度を養う。

(2)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	学びに向かう力・人間性等
4月	オリエンテーション	学習の進め方やねらいを学ぶ			
4月	家族・家庭生活 自分の成長と家族	成長した自分を振り返り、将来について考える	自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりがわかる。	家族との良いかかわりについて考え、表現できる。	自分の成長について確認し、ライフステージやライフプランについて意欲的に考えようとしている。
5月6月	衣服の生活 衣服の手入れ (スウェーデン刺繍)	衣服の材料 洗濯	衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れを適切にできる。	衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫できる。	洗濯表示について知り、表示にあった洗濯方法を意欲的に実践しようとしている。
7月	衣食住の生活 食事の役割 日常食の調理	野菜を使った調理	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解することができる。	食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。	野菜の栄養や調理法について積極的に調べたり、調理したりしている。
8月 9月	衣服の管理 布を使った製作	住居の危険調べ、 10年後の住まい マルチポーチ作り	住居の基本的な機能について理解することができる。 製作の手順が分かり、製作計画について理解できる。	家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。 簡単なものの製作計画を考え、製作を工夫することができる。	住居の基本的な機能を積極的に調べたり、将来の住まいについて主体的に考えようとしている。 製作工程を把握し、見通しをもちながら積極的に製作に参加している。
10月	家族・家庭生活 (マスコットづくり)	地域の行事調べ 余暇の過ごし方	家庭生活において地域の人々との協力が大切であることに気づく。	健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。	積極的に調べ学習に取り組んだり、余暇について考えたことを実践したりしようとしている。
11月	消費生活・環境	いろいろな購入方法と支払方法 小遣い帳の記入	購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気づくことができる。	物資、サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。	いろいろな購入方法や支払い方法について調べ、それを実践につなげようとしている。
12月	衣食住の生活 食事の役割 日常食の調理	肉を使った調理	食品や調理用品等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解することができる。	食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。	肉の栄養や調理法について積極的に調べたり、調理したりしている。
1月	衣食住の生活 食事の役割 日常食の調理	一食分の調理	用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。	一食分の献立について考え、工夫することができる。	自分が考えた献立の調理法について積極的に調べたり、調理したりしている。
2月	衣食住の生活 衣服の選択	修学旅行に着ていく服を考えよう	衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着用および、衣服の適切な選択について理解することができる。	衣服の選択について考え、工夫することができる。	TPOを考えた服を実践につなげようとしている。
3月	消費生活・環境	よりよい買い物の仕方	消費者の基本的な権利と責任、消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づくことができる。	身近な消費生活について自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。	よりよい買い物の仕方について意欲的に考えたり、卒業後の生活の金銭管理について主体的に考えることができる。

(家庭科)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成する。	教科で育てたい資質 能力	よりよい生活を送るための力
----------	---	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	家庭や地域における生活からの問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。
(3) 学びに向かう力人間性等	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けようとしている。

(3)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	衣生活・食生活を学ぶに当たって	今までの自分の生活を振り返り、整理することができる。	整理したものから、自分の良い点や改善点を考え、表現している。	振り返りを通して、今後どのように学習していきたいかを見出している。
5	食事と健康① 調理実習:餃子	包丁の使い方を学ぶ	調理用具等の安全と衛生に留意しながら、基礎的な日常食の調理ができる。	基礎的な日常食の調理において、調理の仕方について考え、表現している。	実習を振り返って、改善しようとしたり、今後に生かそうとしている。
6・7 10 11	衣食住	布を用いた小物制作	目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。	製作に必要な手順をふまえ、どのように組み立てようのかを考え、工夫している。	製作に向けた活動を振り返って、改善しようとしたり、今後に生かそうとしている。
7~9	食事と健康② 調理実習:ピザ	日常食の調理	材料に適した調理方法について理解し、基礎的な日常食の調理ができる。	食品の選択や調理の仕方について考え、表現している。	実習を振り返って、食品の選び方や調理の仕方を見直そうとしている。
9 ~ 11	消費生活と環境	消費者教育とトラブル例	日常生活に関連付け、消費者として必要な知識を深める。	消費者被害にあわないようにするための注意点を考え、表現している。	課題を振り返り、今後の消費生活に生かそうとしている。
12	食事と健康③ 調理実習:ハンバーガー	食事の役割	日常生活に関連付け、用途に応じた食品を選び、調理ができる。	献立について考え、工夫している。	実習を通して、改善点に気付いたり、自分の食生活を振り返り、見直そうとしている。
1~2	ライフスタイルと環境	購入方法と支払い	購入方法や支払い方法の特徴がわかる。	消費者被害にあわないようにするための注意点を考え、表現している。	課題を振り返り、今後の消費生活に生かそうとしている。
3					



美術

(美術科) 教育内容及び年間指導計画

教科目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方を理解し、自己表現を楽しみ、心豊かな生活を主体的に創造する力を培う	教科で育てたい資質能力	色や形の美しさを感じ自分の手で創ることを楽しむ力
------	---	-------------	--------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・形や色などの造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫する技能を身に付ける。
(2) 思考力判断力表現力等	・造形的な良さや美しさについて考え、自己の主題を決め、試行体験を通して、豊かに発想したり構想したりし、見方・感じ方を深めることができるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	・美術の活動に主体的に取り組み、創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造する態度を養う。

(1) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
8月～ 随時	【鑑賞】 美しいもの探し	【鑑賞】身の回りの良さを感じ取り見方感じ方を広げ、簡単な文にして書いたり発表したりしている。	身の回りのものの良さを五感を通して感じ取り、造形的な視点で具体的に言語表現している。		主体的積極的に良さを感じ取ろうとし、相手に伝わるように表現しようとしている。
4月 5月	【オリエンテーション】 【表現】 オリジナルキューブづくり	【表現】 方眼紙を用いて、5cm×5cmの立方体の展開図を描き、鉛筆や色鉛筆、マーカーなどで6面を自由にデザインする。	・形や色彩の構成、材料や用具の特性を理解し、それらを生かして立方体の各面に意図をもって表現している。 ・鉛筆や色鉛筆を安全に適切に扱っている。	・自分の感じたことや考えたことをもとに、6面の構成を工夫し、全体のバランスやテーマ性を考慮しながら、創造的に表現している。 ・表現の意図や工夫が作品に反映されている。	・自分の思いや願いを大切にしながら、活動に意欲的に取り組み、最後まで粘り強く制作を続けようとしている。 ・他者の作品にも関心をもち、互いのよさを認め合おうとしている。
6月	【表現】 墨の線で描く私	【表現】 墨と筆を使って、自分のありのままの気持ちを、直線や曲線、渦巻きなどで抽象的に表現する。	・墨汁や筆の特性を理解し、直線・曲線・渦巻きなどの造形的要素を用いて、抽象的な表現を行っている。 ・細筆・太筆を使い分けながら、墨の濃淡や筆致を工夫している。	・自分の気持ちや考えを抽象的な線の構成によって表現しようとしており、線の動きや配置に意図や工夫が見られる。 ・具体的な形を描かずに、感情や思考を造形的に表現している。	・墨と筆を使った表現に意欲的に取り組み、自分の思いや感情を線で表そうとしている。 ・抽象的な表現に挑戦しながら、活動を楽しみ、他者の作品にも関心をもちようとしている。
7月 8月 9月	【表現】 私の脳内	【表現】 ・鉛筆又は色鉛筆を用いて自画像を描く。 ・自分の頭の中にあるものや好きなもの・ことを表す画像や写真をChromebookで収集する。 ・自画像と収集した画像・写真を台紙に貼り合わせて1つの作品を仕上げる。	・顔の特徴を捉えるための観察の視点や、鉛筆・色鉛筆の使い方、コラージュに必要な素材の扱い方を理解し、適切に活用して表現している。 ・Chromebookを活用して自分の興味や関心に合った画像や写真を検索・収集し、目的に応じて選択している。	・自分の個性や興味・関心をもとに、収集した画像や素材を取捨選択し、構成や配置を工夫して、作品全体に意味やストーリーをもたせている。 ・表現の意図が明確で、見る人に伝わるように工夫されている。	・自分自身を表現することに前向きに取り組み、ICTを活用しながら活動を楽しみ、最後まで完成を目指そうとしている。 ・他者の表現にも関心をもち、互いの違いやよさを尊重しようとしている。
10月 11月 12月	【表現】 缶のデッサン	【表現】 缶の形を正確に描写し、鉛筆の濃淡のみで、奥行きや立体感を表現する。	・鉛筆の濃淡や線の使い方を理解し、缶の形や陰影を正確に捉えて描写している。 ・形や光の働きに着目し、立体感を表現するための基本的な技能を身に付けている。	・観察した対象の特徴をもとに、構図や陰影の付け方を工夫し、立体感や質感を表現しようとしている。 ・表現の意図や工夫が作品に反映されている。	・対象をよく見て丁寧に描こうとする姿勢があり、集中して活動に取り組もうとしている。 ・わからないことがあっても相談をとおして解決し、完成を目指して粘り強く取り組もうとしている。

1月 2月 3月	【表現】 野菜をつくろう	【表現】 紙粘土を野菜の形に成形し、絵の具で着彩して、立体作品を仕上げる。	・野菜の形や色を観察し、紙粘土や絵の具の特性を理解して活用し、本物に近い表現を目指して制作している。 ・材料や用具を安全に、適切に扱っている。	・実物の特徴をよく観察し、形や色の再現に工夫が見られ、リアルさや美しさを追求しようとしている。 ・表現の意図が明確で、見る人に伝わるように構成されている。	・粘土や絵の具の扱いに意欲的に取り組み、制作の過程を楽しみながら、最後まで完成を目指して活動しようとしている。 ・他者の作品の鑑賞をとおして、互いのよさを認め合おうとしている。
----------------	-----------------	--	--	--	---

(美術科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方を理解し、自己表現を楽しみ、心豊かな生活を主体的に創造する力を培う	教科で育てたい資質能力	色や形の美しさを感じ自分の手で創ることを楽しむ力
----------	---	-------------	--------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・形や色などの造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫する技能を身に付ける。
(2) 思考力判断力表現力等	・造形的な良さや美しさについて考え、自己の主題を決め、試行体験を通して、豊かに発想したり構想したりし、見方・感じ方を深めることができるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	・美術の活動に主体的に取り組み、創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造する態度を養う。

(2) 年 年間計画と評価	学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
-----------------	------	---------	---------	---------

時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
通年	【鑑賞】 美しいもの探し	【鑑賞】身の回りの良さを感じ取り見方感じかとおひろげ簡単な分にして書いたり発表したりする	身の回りのものの良さを五感を通して感じ取り、造形的な視点で具体的に言語表現ができる		主体的積極的に良さを感じ取ろうとし、相手に伝えるように表現しようとする
3月 ～4月	エコバックのワンポイントデザイン (2時間)	エコバックの帆布に、名前の漢字一文字を選び、篆書体を用いてワンポイントをデザインする。印を押したような仕上がりとなるように文字の形や太さに注意しながら、四角枠を用いて、ペンで描く。	・学習の目的を理解し、自己の主題を生み出し、具体的な材料や用具の知識を広げ表現の構想を練ることができる ・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる	・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる ・全体と部分の調和を意識して考えることができる	・楽しく美術の活動に取り組み、自己の主題を具体的に形にできるまで粘り強く試行を重ね、満足のいく作品を制作しようとしている ・道具や作品を丁寧に扱うことができる ・自他の作品の良さを理解し、言語化して伝えることができる
5月 ～9月	「音楽を描く」(8時間) 抽象画・構図 3原色からの混色 遠近法・ミクストメディア	【導入】抽象画について『魔法使いの弟子』(ファンタジア・ディズニー) 落書きWS 【構想】 9つの構図を知る 地と図を知る 遠近法を試す メタモルフォーゼを試す オタマジャクシ⇒ペットボトル 【制作】構図・焦点化 3原色絵具 材料選びと表現 【展示・鑑賞】	・自分で曲を選ぶ。 ・曲を聴いて感じたイメージを言葉で表現する。 ・学習した構図や表現方法を吟味し、材料や道具等を用いて、試行しながら表現し取捨選択する。 ・三原色を使い、学習した混色の知識を生かし、色づくりができる。 ・展示やコメントについて、他者に何を伝えたいのかを考え、言葉にできる。	・歌詞やメロディーからイメージを自ら発想し、言葉で表現する。 ・構図を工夫し、メインとなる像を引き立てようと自ら試行錯誤しながら進める。 ・着彩の工夫、混色の知識を生かした色の構成をする。 ・全体のバランスを見ながら、材料の扱いや表現方法を工夫している。 ・展示やコメントについて、他者からの見え方を考えながら、自ら言葉を選ぶことができる。	・構図や明暗、色使いを考え、自分の表現したい世界ができるまで、粘り強く取り組むことができる。 ・学習した遠近法、質感や形の成り立ち(陰影等)を丁寧に描き、作品完成まで粘り強く取り組むことができる。
10月	色鉛筆による表現 コースターの制作 (4時間)	色鉛筆マスターへの道WS コースターラフデザイン 12色相環・補色・同系色等 コースター描画制作	・色鉛筆の表現方法を試行する。(濃淡・混色) ・円形のコースターへのラフデザインを考える。(同系色・補色) ・学習した内容を表現に生かす。	・学習した知識を使い、表現方法を工夫する。	・学習した知識や表現をもとに、さらに工夫を重ね粘り強く取り組むことができる。
11月 ～3月	切り絵の世界()	和柄模様WS・紋切り絵 ハサミ・カッター・デザインカッターの使い方 切り絵の技法 切り絵制作	・学習の目的を理解し、自己の主題を生み出し、具体的な材料や用具の知識を広げ表現の構想を練ることができる ・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる	・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる ・全体と部分の調和を意識して考えることができる	・楽しく美術の活動に取り組み、自己の主題を具体的に形にできるまで粘り強く試行を重ね、満足のいく作品を制作しようとしている ・道具や作品を丁寧に扱うことができる ・自他の作品の良さを理解し、言語化して伝えることができる

(美術科) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方を理解し、自己表現を楽しみ、心豊かな生活を主体的に創造する力を培う	教科で育てたい資質 能力	色や形の美しさを感じ自分の手で創ることを楽しむ力			
教科の3観点(目標)						
(1) 知識及び技能等		・形や色などの造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫する技能を身に付ける。				
(2) 思考力判断力表現力等		・造形的な良さや美しさについて考え、自己の主題を決め、試行体験を通して、豊かに発想したり構想したりし、見方・感じ方を深めることができるようにする。				
(3) 学びに向かう力人間性等		・美術の活動に主体的に取り組み、創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造する態度を養う。				
(3) 年		年間計画と評価	学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点			
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
通年	【鑑賞】 美しいもの探し	【鑑賞】身の回りの良さを感じ取り見方感じかとおひろげ簡単な分にして書いたり発表したりする	身の回りのものの良さを五感を通して感じ取り、造形的な視点で具体的に言語表現ができる		主体的積極的に良さを感知取ろうとし、相手に伝わるように表現しようとする	
4～9月	【表現】 粘土で作る私の紋章	紋章について知る	・学習の目的を理解し、自己の主題を生み出し、具体的な材料や用具の知識を広げ表現の構想を練ることができる ・意図に応じて表現方や使う道具や素材等を選択し使用することができる	・主題を選択決定し、それを表現するための具体的な案を試行錯誤しながら深めることができる ・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる ・全体と部分の調和を意識して考えることができる ・制作しながらさらに主題を追求し、よりよい表現に高めることができる	・楽しく美術の活動に取り組み、自己の主題を具体的に形にできるまで粘り強く試行を重ね、満足のいく作品を制作しようとしている ・道具や作品を丁寧に扱おうとしている ・自他の作品の良さを理解し、言語化して伝えることができる	
		レリーフについて知る				
		【表現】自分を表すものについて考え紋章としてふさわしいものを選択し深める(アイデアノート)				
		土台の形とそこに何を配置するか決める(白粘土で試行)				
		黒粘土で実際に作る				
		金で彩色をする(どんな塗り方塗り重ね方をするか試行し深める)				
		作品票に自己の軌跡を言語化する				
		背景の黒画用紙にどんな模様を描くか構想し描く				
		【鑑賞】みんなの作品を鑑賞し良さをコメントする				
10月～1月	【表現】 卒業制作 篆刻 日野中央美術館	篆刻について	・学習の目的を理解し、自己の主題を生み出し、具体的な材料や用具の知識を広げ表現の構想を練ることができる ・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる	・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる ・全体と部分の調和を意識して考えることができる	・楽しく美術の活動に取り組み、自己の主題を具体的に形にできるまで粘り強く試行を重ね、満足のいく作品を制作しようとしている ・道具や作品を丁寧に扱うことができる ・自他の作品の良さを理解し、言語化して伝えようとしている	
		印面の篆刻彫り、丸彫り彫刻、箱のデザイン等制作計画				
		アイディアスケッチ				
		試作				
		制作				
		作品票に自己の軌跡を言語化する				
【鑑賞】卒業制作	【鑑賞】展示 鑑賞					
2月	作品集制作	これまでの作品スライドにコメントを挿入し印刷し綴じる	・造形的視点で作品を見ることができる	・造形的視点でコメントを書くことができる	・作品を大切にしようとしている	



保健

体育

(保健体育)教育内容及び年間指導計画

教科目標	日常生活や就労見据え、体力の維持・維持増進に関心を持って継続的に運動する習慣を育てる。また、基本的な健康・安全の知識を身に付け、自分の心と体を大切にしながら、周囲と協力して活動する力を育む。	教科で育てたい資質能力	心身の健康を保持増進する力
------	---	-------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	健康・運動に関する知識や技能を身に付け、日常生活や学校生活で活かせるようにする。
(2) 思考力判断力表現力等	自分の心身の状態や活動の目的に応じて、運動や健康に関する行動を選び、適切に判断・表現できるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	運動や健康に関する活動に主体的に取り組み、仲間と協力しながら、安全に配慮して活動できるようにする。

(3) 1年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	体育祭練習	体育祭練習	各種目の正しいやり方を理解し、適切に実施できる。体力テストの結果から自分の体力の状態を知ることができるようにする。	自分の体力の特徴を踏まえ、どのように体力を高めればよいか考え、必要に応じて生活や運動に生かそうすることができる。	体力テストに意欲的に取り組み、最後まで諦めずに挑戦しようとしている。
5月	体力テスト	体力テスト	各種目の正しいやり方を理解し、適切に実施できる。体力テストの結果から自分の体力の状態を知ることができるようにする。	自分の体力の特徴を踏まえ、どのように体力を高めればよいか考え、必要に応じて生活や運動に生かそうすることができる。	体力テストに意欲的に取り組み、最後まで諦めずに挑戦しようとしている。
	性教育①	思春期の心と体の変化	身体機能の発達と個人差について理解する。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心を持ち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
6月	バスケットボール	基礎練習 簡易的なゲーム	バスケットボールの基本的なルールやマナーを理解し、ドリブル、パス、シュートなどの基本的な技能を身に付け、簡易的なゲーム行うことができる。	ゲームの状況に応じて、自分の役割や動きを考え、仲間との関わりやプレーの工夫ができる。	バスケットボールの活動に意欲的に取り組み、仲間と協力しながら、ルールやマナーを守って安全に活動しようとしている。
7月	バレーボール	基礎練習 簡易的なゲーム	基本的なルールや安全に関する理解を深め、オーバーハンドパスやアンダーハンドパスなどの基本的な技能を身に付けることができる。	ゲームの状況に応じて自分の役割や動きを判断し、仲間との連携やプレーの工夫ができる。	バレーボールの活動に主体的に取り組み、ルールやマナーを守りながら仲間と協力して安全に活動しようとしている。
	性教育②	生命の誕生 性行為とリスク	生殖にかかわる機能の成熟と適切な行動について理解する。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心を持ち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
8・9月	課題学習	テーマ別調べ学習	健康で安全な個人生活を営むための知識技能を身に付ける。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心を持ち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
10月	ダンス	模倣練習 グループ練習 発表会	音楽やリズムに合わせて体を動かすことができる。手足を大きく動かす・止まる・方向を変えるなど基本的な動作ができる。	グループのダンスで、タイミングや動きを合わせることができる。大きく動いたり、表情をつけたりとすることができる。	ダンスの活動に意欲的に取り組み、自ら進んで踊ろうとしている。仲間の良いところを見つかったり、教え合うとしている。
11月	バドミントン	基礎練習	基本的なルールやマナー、	相手の動きや自分の位置	仲間と協力しながら意欲

		簡易的なゲーム	安全なプレーの仕方を理解し、簡易的なゲームを行うことができる。	を判断して打ち返したり、仲間と協力して課題を解決することができる。	的に取り組み、ルールやマナーを守って安全に活動しようとしている。
12・1月	障害の予防	心肺蘇生法	応急手当について理解する。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心を持ち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
	サッカー	基礎練習 簡易的なゲーム	サッカーの基本的なルールやマナー、動きを理解することができる。ドリブルやパス、シュートなどの基本的な技術を身に付け、簡易的なゲームを行うことができる。	味方の動きや相手の動きに応じて、パスやシュートなどを選んでプレーできる。守備や攻撃など、役割に応じた行動を考えて行動できる。	サッカーの活動に意欲的に取り組み、仲間と協力しながら、ルールやマナーを守って安全に活動しようとしている。
2月	陸上	駅伝	陸上に関する基本的な動作を理解することができる。長距離ではリズム呼吸、短距離ではスタートの姿勢を意識することができる。	自分の記録を振り返って、どうしたら良くなるかを考えることができる。仲間と協力して自分なりの目標や方法を選び取ることができる。	陸上の活動に意欲的に取り組み、練習を通して少しでも記録を伸ばそうとしている。自分の活動を振り返り、次の目標を持つようとしている。
3月	健康な生活と病気の予防	喫煙・飲酒	喫煙、飲酒と健康について理解する。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心を持ち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
	Tボール	基礎練習 簡易的なゲーム	基本的なバット操作での攻撃、ボール操作と定位での守備などによって攻防をすることができる。	自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。

(保健体育) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	各種の運動や健康・安全についての理解を通して、心と体の調和的発達を図り、生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを継続する力を付ける。	教科で育てたい資質 能力	心身の健康を保持増進する力
----------	---	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・いろいろな運動の特性に応じた技能や健康・安全について知り、目的に応じた技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	・運動や健康・安全についての課題を発見し、その解決に向けて仲間と考え判断したり、目的や状況に応じて他者に伝えたりしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	・生涯にわたって継続して運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指して取り組もうとしている。

(2) 年 年間計画と評価		学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	体育祭練習 体力テスト	体育祭練習	各種目の正しいやり方を理解し、適切に実施できる。体力テストの結果から自分の体力の状態を知ることができるようにする。	自分の体力の特徴を踏まえ、どのように体力を高めればよいか考え、必要に応じて生活や運動に生かそうすることができる。	体力テストに意欲的に取り組み、最後まで諦めずに挑戦しようとしている。
5月		体力テスト			
6月	バドミントン 卓球 ダンス	ラリー ゲーム 発表	ボールや用具の操作と空いている場所を巡る攻防をすることができる。	球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。
7月	保健学習 (性教育)	性差 異性との関わり 距離感	身体機能の発達と個人差について理解する。生殖にかかわる機能の成熟と適切な行動について理解する。	性にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心をもち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
8、9月	バスケットボール	ドリブル パス シュート	ボールの操作とゴール前での攻防ができる。	球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。
10月	ソフトバレーボール	オーバーハンド アンダーハンド ラリー ゲーム	ボールや用具の操作と空いている場所を巡る攻防をすることができる。各ポジションの役割を知り、それに応じた動きができる。	球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。
	飲酒と喫煙	飲酒や喫煙について知る	飲酒や喫煙の危険性について理解する。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心をもち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
11月	バドミントン 卓球	ラリー 習熟度練習 ゲーム	ボールや用具の操作と空いている場所を巡る攻防をすることができる。	球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。
	障害の予防	心肺蘇生法	応急手当について理解する。	健康・安全にかかわる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	自他の健康に関心をもち、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。
12月	サッカー	ドリブル パス	ボールの操作とゴール前での攻防ができる。	球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保した

		ゲーム		えたり、他者に伝えたりしている。	り、自主的に運動しようとしている。
1月	駅伝	走法 持久走 ペース走	ペースを守って走ることができる。	陸上運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。
2月	ティーボール	基礎練習 ゲーム	基本的なバット操作での攻撃、ボール操作と定位での守備などによって攻防をすることができる。	球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫し、仲間と考えたり、他者に伝えたりしている。	決まりやルール・マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。
3月	ダンス	基礎練習 グループ練習 発表会	音楽やリズムに合わせて体を動かすことができる。手足を大きく動かす・止まる・方向を変えるなど基本的な動作ができる。	グループのダンスで、タイミングや動きを合わせることができる。大きく動いたり、表情をつけたりすることができる。	ダンスの活動に意欲的に取り組み、自ら進んで踊ろうとしている。仲間の良いところを見つけたり、教え合うとしている。

(保健体育)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	日常生活や就労見据え、体力の維持・維持増進に関心を 持って継続的に運動する習慣を育てる。また、基本的な健康・ 安全の知識を身に付け、自分の心と体を大切にしながら、 周囲と協力して活動する力を育む。	教科で育てたい資質 能力	心身の健康を保持増進する力
----------	---	-----------------	---------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	各種の運動の特性に応じた技能や生活における健康安全について理解し、身に付け生かせるようになる
(2) 思考力判断力表現力等	各種の運動や健康・安全についての課題を発見し、その解決に向けて考え判断し他者に 伝える力を養う。
(3) 学びに向かう力人間性等	生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな 生活を営む態度を養う。

(3)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組 む態度
4月	体育祭練習 体力テスト	体育祭練習	各種目の正しいやり方を理 解し、適切に実施できる。体 力テストの結果から自分の 体力の状態を知ることがで きるようにする。	自分の体力の特徴を踏ま え、どのように体力を高めれ ばよいか考え、必要に応じ て生活や運動に生かそうす ることができる。	体力テストに意欲的に取り 組み、最後まで諦めずに挑 戦しようとしている。
5月		体力テスト			
6月	バドミントン	基礎練習	基本的なルールやマナー、 安全なプレーの仕方を理解 し、簡易的なゲームを行うこ とができる。	相手の動きや自分の位置 を判断して打ち返したり、仲 間と協力して課題を解決し たりすることができる。	仲間と協力しながら意欲 的に取り組み、ルールやマ ナーを守って安全に活動し ようとしている。
		ラリー			
		簡易的なゲーム			
7月	バレーボール	基礎練習	基本的なルールや安全に関 する理解を深め、オーバーハ ンドパスやアンダーハンドパ スなどの基本的な技能を身 に付けることができる	ゲームの状況に応じて自分 の役割や動きを判断し、仲 間との連携やプレーの工夫 ができる。	バレーボールの活動に主 体的に取り組む、ルールや マナーを守りながら仲間と 協力して安全に活動しよう としている。
		習熟度ごと練習			
		簡易的なゲーム			
8月	バスケットボール	基礎練習	バスケットボールの基本的な ルールやマナーを理解し、ド リブル、パス、シュートなどの 基本的な技能を身に付け、 簡易的なゲーム行うことが できる。	ゲームの状況に応じて、自 分の役割や動きを考え、仲 間との関わりやプレーの工 夫ができる。	バスケットボールの活動に 意欲的に取り組み、仲間と 協力しながら、ルールやマ ナーを守って安全に活動し ようとしている。
9月		シュート練習			
		簡易的なゲーム			
10月	卓球	基礎練習	卓球の基本的なルールやマ ナー、安全に配慮したプレー の仕方を理解し、ラリーや サービスなどの基本的な技 能を身に付け、簡易的な ゲームを行うことができる。	簡易的なゲームの場面に 応じて、自分の打ち方や立ち 位置を考え、相手とのやりと りを工夫できる。	卓球の活動に意欲的に取 り組み、仲間と協力しなが らルールやマナーを守り、 安全に活動しようとしてい る。
		ラリー練習			
		簡易的なゲーム			
11月	サッカー	基礎練習	サッカーの基本的なルール やマナー、動きを理解するこ とができる。ドリブルやパス、 シュートなどの基本的な技 術を身に付け、簡易的な ゲームを行うことができる。	味方の動きや相手の動きに 応じて、パスやシュートなど を選んでプレーできる。守 備や攻撃など、役割に応じ た行動を考えて行動でき る。	サッカーの活動に意欲的 に取り組み、仲間と協力し ながら、ルールやマナーを 守って安全に活動しようと している。
		パスゲーム			
		簡易的なゲーム			
12月	ダンス	模倣練習	音楽やリズムに合わせて体 を動かすことができる。手足 を大きく動かす・止まる・方 向を変えるなど基本的な動 作ができる。	グループのダンスで、タイミ ングや動きを合わせること ができる。大きく動いたり、 表情をつけたりすることが できる。	ダンスの活動に意欲的に 取り組み、自ら進んで踊ろ うとしている。仲間の良いと ころを見つけたり、教え合 うとしている。
		グループ練習			
		発表会			
1	陸上	長距離	陸上に関する基本的な動作 を理解することができる。長 距離ではリズム呼吸、短距 離ではスタートの姿勢を意 識することができる。	自分の記録を振り返って、 どうしたら良くなるかを考 えることができる。仲間と協 力して自分なりの目標や方 法を選び取ることができる。	陸上の活動に意欲的に取 り組み、練習を通して少し でも記録を伸ばそうとして いる。自分の活動を振り返 り、次の目標を持とうとし ている。
		短距離			



職業 基礎

(職業基礎) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	働く意義や働き続けるために必要な資質の理解を深め、自分の進路を考えていく力を身に付ける。	教科で育てたい資質能力	自分の進路を考えていく力
----------	--	-------------	--------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等		職業に関する事柄を知り、将来の職業生活に必要な技能を身に付けている。				
(2) 思考力判断力表現力等		将来の職業生活に必要な課題を設定し解決策を考え実践しようとしている。				
(3) 学びに向かう力人間性等		将来の職業生活や地域生活に向けてより良い実践を主体的に考えようとしている。				
(1) 年		年間計画と評価	学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点			
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月	オリエンテーション	年間スケジュール	職業基礎で1年間学習する内容や授業のルールに気付いている。	1年間で学習する内容や授業のルールを知り、その必要性について考えている。	学習内容や授業のルールを理解し、自ら授業の準備や学ぶ姿勢を整えようとしている。	
		授業のルール				
4月～5月	社会生活 職業生活	ビジネスマナー	職業生活に係る技能を身に付けている。 適切な進路選択に必要な、職種について理解している。	社会生活や職業生活を送る上での自分の課題や強みについて考えている。	将来の社会生活や職業生活に必要な事柄について、実践しようとしている。	
		メモの取り方				
		職種について				
		自分を知る				
6月	第一回職場見学 事前学習	目的	職場見学の目的を理解する。 望ましい見学態度や、必要なマナーやエチケットを身に付けている。	自分にあう職種や職場環境について関心を持ち、質問を考えている。	見学の準備をしたり、分からないことを質問して解決しようとしている。	
		見学時のマナー				
		質問				
7月	第一回職場見学 事後学習	就労に必要な力について	就労に必要な力や職種について理解を深め、将来の職業生活に必要な技能を身に付けている。	「できること」「やりたいこと」「就労に向けての自分の課題」について具体的に考えたり、表現したりしている。	就労に向けての自分の課題の改善に向けて、実践しようとしている。	
		職種について				
8月～11月	現場実習 事前学習	個人票作成	現場実習に必要な事柄について理解している。 職業生活に係る技能を身に付けている。	自分の長所や課題を整理して表したり、就労に必要な力等学んだことを踏まえ、目標を考えている。	現場実習に係る準備に自ら取り組み、必要なことを報告したり、分からないことを質問し解決しようとしている。	
		実習の目標				
		日誌の書き方				
		個人目標設定				
		面接練習				
12月	現場実習 事後学習	お礼状	現場実習で学んだことについて振り返り、将来の職業生活に必要なことについて理解を深めている。	現場実習で経験したことを振り返り、学校生活や卒業後の生活に生かしていくことを、具体的に考えたり、表現したりしている。	就労に向けての自分の課題の改善に向けて、今後の学習目標に取り入れたり、実践したりしようとしている。	
		振り返り				
12月～2月	社会生活 職業生活	仕事のやりがい・適性	職種の理解を通し、進路選択に向けての知識を身に付けている。 福祉サービスについて理解を深めている。	様々な職種や福祉サービス事業所について学んだことを整理し、自分の適性や将来について考えている。	学習内容を自分自身の生活に結び付けて、より良くしていこうとする意識をもとうとしている。	
		職種について				
		福祉サービス				
2月	第二回職場見学 事前学習	目的	職場見学の目的を理解する。 望ましい見学態度や、必要なマナーやエチケットを身に付けている。	自分にあう職種や職場環境について関心を持ち、質問を考えている。	見学の準備をしたり、分からないことを質問して解決しようとしている。	
		見学時のマナー				
		質問				
3月	第二回職場見学 事後学習	就労に必要な力について	就労に必要な力や職種について理解を深め、将来の職業生活に必要な技能を身に付けている。	「できること」「やりたいこと」「就労に向けての自分の課題」について具体的に考えたり、表現したりしている。	就労に向けての自分の課題の改善に向けて、実践しようとしている。	
		職種について				

(職業基礎) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	働く意義や働き続けるために必要な資質の理解を深め、自分の進路を考えていく力を身に付ける。	教科で育てたい資質能力	自分の進路を考えていく力
----------	--	-------------	--------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	職業に関する事柄を知り、将来の職業生活に必要な技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	将来の職業生活に必要な課題を設定し解決策を考え実践しようとしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	将来の職業生活や地域生活に向けてより良い実践を主体的に考えようとしている。

(2) 年 年間計画と評価		学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	オリエンテーション	年間スケジュール 授業ルール	職業基礎で学習する内容や授業ルールを知る。	1年間で学習する内容や授業ルールを知り、その必要性について考えている。	社会生活や職業生活に向けた必要な学びについて、主体的に考えようとしている。
5月	現場実習事前学習	個人票作成 目標・日誌 面接練習	・将来の職業生活に係る事柄について、現場実習と関連付けて理解し、身に付けている。 ・現場実習で学んだことについて振り返り、将来の職業生活に必要なことについて理解を深めている。	・自身の長所や課題を整理して表したり、前回の現場実習の課題を踏まえて目標を考えたりしている。 ・現場実習で学んだことを他者との協働により振り返り、成長や課題について考え、表現している。	・現場実習に係る準備に自ら取り組み、必要なことを報告したり、分からないことを質問して解決しようとしていたりしている。 ・現場実習で学んだことを振り返り、自身の課題を改善しようと計画している。
6月	現場実習事後学習	お礼状 振り返りレポート			
7月	社会生活 職業生活	職種	・職種の理解を通して適切な進路選択の知識を身に付けたり、将来の職業生活に必要な実的な知識を身に付けたりしている。 ・職業生活を支える社会の仕組みについて理解を深めている。	・将来の職業生活に必要な健康管理について課題意識を持ち、工夫したり改善を図ろうと考えたりしている。 ・適切な進路選択について考え、表現している。	・将来の職業生活に必要な事柄について実践しようとしている。 ・職業生活を支える社会の仕組みについて関心をもって調べている。
		働くための力			
		企業就労			
		福祉就労			
		合理的配慮			
8・9月		求人票の見方			
10月	現場実習事前学習	目標・日誌 面接練習	・将来の職業生活に係る事柄について、現場実習と関連付けて理解し、身に付けている。 ・現場実習で学んだことについて振り返り、将来の職業生活に必要なことについて理解を深めている。	・前回の現場実習の課題を踏まえた目標や希望職種に係る事柄について考えている。 ・現場実習で学んだことを他者との協働により振り返り、成長や課題について考え、表現している。	・現場実習に係る準備に自ら取り組み、必要なことを報告したり、分からないことを質問して解決しようとしていたりしている。 ・現場実習で学んだことを振り返り、自身の課題を改善しようと計画している。
11月	現場実習事後学習	お礼状 振り返りレポート			
12月	社会生活 職業生活	職種	・職種の理解を通して適切な進路選択の知識を身に付けたり、将来の職業生活に必要な実的な知識を身に付けたりしている。 ・職業生活を支える社会の仕組みについて理解を深めている。	・将来の職業生活に必要な健康管理について課題意識を持ち、工夫したり改善を図ろうと考えたりしている。 ・適切な進路選択について考え、表現している。	・将来の職業生活に必要な事柄について実践しようとしている。 ・職業生活を支える社会の仕組みについて関心をもって調べている。
		働くための力			
		企業就労			
		福祉就労			
		合理的配慮			
1・2月		関係機関			

(職業基礎) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	働く意義や働き続けるために必要な資質の理解を深め、自分の進路を考えていく力を身に付ける。	教科で育てたい資質 能力	自分の進路を考えていく力
----------	--	-----------------	--------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	職業に関する事柄を知り、将来の職業生活に必要な技能を身に付けている。
(2) 思考力判断力表現力等	将来の職業生活に必要な課題を設定し解決策を考え実践しようとしている。
(3) 学びに向かう力人間性等	将来の職業生活や地域生活に向けてより良い実践を主体的に考えようとしている。

(3) 年 年間計画と評価		学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	オリエンテーション	年間スケジュール	職業基礎で1年間学習する内容を知る。	1年間で学習する内容を知り、目的意識をもって取り組む。	社会生活や職業生活に向けて主体的に考えようとしている。
5月	現場実習事前学習	個人票作成 目標・日誌 面接練習	現場実習と関連付け、社会生活や職業生活に必要な事柄を理解している。	現場実習へ向けた取り組みの必要性について考えたり、目的意識をもって課題に取り組んだりしている。現場実習で経験したことを報告したり、分からないことを質問して解決しようとしていたりしている。	自分から準備や課題に取り組み、必要なことを報告したり、分からないことを質問して解決しようとしていたりしている。
6月	現場実習事後学習	振り返り お礼状	現場実習の事前・事後学習で行う内容について理解し、実践している。	振り返り、学校生活や卒業後の生活に生かしていくことを具体的に考えたり、表現したりしている。	
7月	社会生活 職業生活	職業相談	適切な進路選択や社会生活・職業生活に必要な実際の知識を身に付けている。	社会生活や職業生活に必要な内容について課題意識を持ち、卒業後の生活を見据えた行動について考えている。	学習内容を自分自身の生活に結び付けて、より良くしていこうとする意識をもとうとしている。
		求職登録			
		履歴書の書き方			
8・9月		障害福祉の案内			
		合理的配慮			
		求人票の見方			
10月	現場実習事前学習	目標・日誌 面接練習	現場実習と関連付け、社会生活や職業生活に必要な事柄を理解している。	現場実習へ向けた取り組みの必要性について考えたり、目的意識をもって課題に取り組んだりしている。現場実習で経験したことを報告したり、分からないことを質問して解決しようとしていたりしている。	自分から準備や課題に取り組み、必要なことを報告したり、分からないことを質問して解決しようとしていたりしている。
11月	現場実習事後学習	振り返り お礼状	現場実習の事前・事後学習で行う内容について理解し、実践している。	振り返り、学校生活や卒業後の生活に生かしていくことを具体的に考えたり、表現したりしている。	
12月	社会生活 職業生活	仕事のやりがい	適切な進路選択や社会生活・職業生活に必要な実際の知識を身に付けている。	社会生活や職業生活に必要な内容について課題意識を持ち、卒業後の生活を見据えた行動について考えている。	学習内容を自分自身の生活に結び付けて、より良くしていこうとする意識をもとうとしている。
		ストレスの対応			
		障害基礎年金			
1・2月		将来の生活 自己実現			
3月					



情報

(情報) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・身近にある情報や情報技術の習得し、適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。	教科で育てたい資質 能力	情報と情報機器を適切に活用する力
----------	---	-----------------	------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・コンピュータ等の機器を扱えるようになる。
(2) 思考力判断力表現力等	・様々な情報手段の中から、直面する課題や目的に応じた情報手段を選択し、活用することができる。
(3) 学びに向かう力人間性等	・身近にある情報や情報技術の役割等を知り、将来にわたって生活をよりよくしようと取り組んでいる。

(1) 年 年間計画と評価

学年目標

1 年 基礎試行

2 年 選択発展

3 年 深化決定

時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4	パーソナルコンピュータ (PC) の基本操作	電源のオンオフ ファイルの保存 タイピング練習	コンピュータの基本的な用途、操作方法及び仕組みを知る。	問題解決に必要な情報機器や情報技術を考え選択している。	情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、主体的にコンピュータ等の情報機器を活用しようとしている。
5	Chromebookの操作	初期設定と初期化 スタディナビログイン クラスルームの参加	情報周辺機器の特性や操作方法を知り、活用することができる。	情報周辺機器の特性を生かし、問題解決のために活用している。	
5 6 7	文書作成ソフト	基本的な書式設定 文書作成 図形・表の挿入	文書の作成や必要な要件を満たしたシート作成、デザインの変更等の操作ができる。	文書作成上で求められる表現の工夫をすることができる。	
8 9	情報セキュリティと情報モラル	知的財産権 個人情報の取扱い SNSのマナー	基礎的・基本的な知識を身に付け、情報機器の活用をすることができる。	情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、生活を改善している。	
10 11 12	表計算ソフト	基本的な書式設定 計算式の入力 罫線の処理	表計算ソフトウェアの基本的な操作方法を理解している。	表計算ソフトウェアの機能を活用して、課題を適切に処理することができる。	
1 2 3	プレゼンテーションソフト	自己紹介スライド 検定問題 テーマに沿った作成	プレゼンテーションのソフトウェアの画面の名称と機能を理解している。	ソフトウェアの機能を活用して分かりやすい表現ができる。	

(情報) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・身近にある情報や情報技術の習得し、適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。	教科で育てたい資質 能力	情報と情報機器を適切に活用する力
----------	---	-----------------	------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・コンピュータ等の機器を扱えるようになる。
(2) 思考力判断力表現力等	・様々な情報手段の中から、直面する課題や目的に応じた情報手段を選択し、活用することができる。
(3) 学びに向かう力人間性等	・身近にある情報や情報技術の役割等を知り、将来にわたって生活をよりよくしようと取り組んでいる。

(2) 年 年間計画と評価

		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に 学習に取り組む態度
4	パーソナルコンピュータ (PC) の基本操作	PC操作の基本 タイピング練習	コンピュータの基本的 な用途、操作方法及び 仕組みを知る。	問題解決に必要な情報 機器や情報技術を考え 選択している。	情報セキュリティ及び 情報モラルを踏まえ、 主体的にコンピュータ 等の情報機器を活用 しようとしている。
4 5 6 7	文書作成ソフト	基本的な書式設定 文書作成 図形・表の挿入	文書の作成や必要な要 件を満たしたシート作 成、デザインの変更等 の操作ができる。	文書作成上で求められ る表現の工夫をすること ができる。	
8 9	情報モラル	事例検討 情報リテラシー 個人情報の取扱い	情報モラルに対する基 礎的・基本的な知識を 身に付けている	情報セキュリティ及び情 報モラルを踏まえ、生活 を改善している。	
8 9 10 11 12	プレゼンテーションソフト	図形・画像の挿入 アニメーションの挿入 スライドの共通設定	プレゼンテーションのソ フトウェアの画面の名 称と機能を理解してい る。	ソフトウェアの機能を活 用して分かりやすい表現 ができる。	
1 2 3	表計算ソフト	基本的な書式設定 計算式の入力 罫線の処理	表計算ソフトウェアの基 本的な操作方法を理解 している。	表計算ソフトウェアの機 能を活用して、課題を適 切に処理することができ る。	

(情報) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・身近にある情報や情報技術の習得し、適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。	教科で育てたい資質能力	情報と情報機器を適切に活用する力
----------	---	-------------	------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。 ・コンピュータ等の機器を扱えるようになる。
(2) 思考力判断力表現力等	・様々な情報手段の中から、直面する課題や目的に応じた情報手段を選択し、活用することができる。
(3) 学びに向かう力人間性等	・身近にある情報や情報技術の役割等を知り、将来にわたって生活をよりよくしようと取り組んでいる。

(3) 年 年間計画と評価		学年目標	1 年 基礎試行	2 年 選択発展	3 年 深化決定
時期	単元・題材名	内 容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
通年	タイピング練習	基礎復習	基本の指の置き方で素早くタイピングすることができる		情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、主体的にコンピュータ等の情報機器を活用しようとしている
		タイピング入力トレーニング			
4 7 月	情報セキュリティ	ネット被害	情報セキュリティに対する基礎的・基本的な知識を身に付けている	情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、生活を改善している	
	アプリケーションソフトの応用①	簡単な文書作成	コンピュータの基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して、問題を解決する方法を身に付けている。	ソフトウェアの機能を活用し、文書作成上で求められる表現の工夫をすることができる	
		定型文の作成			
		様々な機能の活用			
8 11 月	アプリケーションソフトの応用②	定型文の作成	表計算、プレゼンテーション等のソフトウェアの画面の名称と機能を理解している	ソフトウェアの機能を活用し、文書作成上で求められる表現の工夫をすることができる	
		表の作成			
		様々な機能の活用			
	Web検索ソフトの活用	基本的な操作	身近な情報周辺機器の特性や操作方法を知り、活用することができる	問題解決に必要な情報機器や情報技術を考え選択している	
		ネット利用			
		情報モラル			
12 2 月	アプリケーションソフトの応用③	基本操作の復習	プレゼンテーション等のソフトウェアの画面の名称と機能を理解している	ソフトウェアの機能を活用して分かりやすい表現ができる	
		プレゼンテーションの作成		ソフトウェアの機能を選択して、活用している	
		プレゼンテーション			
3月					



道德

(特別の教科 道徳) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に 考え、自分としての考えを深める。 ・学習を通して、他者との折り合いのつけ方について考え る。	教科で育てたい資質 能力	自己理解を深め、他者との折り合いをつけて生きる力
----------	---	-----------------	--------------------------

教科の2観点(目標)

(1) より良い行動について自分のこととして具体的に考えようとしている。

(2) 多面的、多角的な見方を知り、自分に合った対応の仕方を具体的に考えようとしている。

(1) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行 2年 選択発展 3年 深化決定			
時期	単元・題材名	内容	評価の観点			
			(1) より良い行動について、自分のこととして具体的に考える	(2) 多面的、多角的な見方を知る、よいよい行動を選択する	4つの視点	道徳の22の内容項目
4月	●平和について考える	平和を支える心 横浜大空襲	命の大切さを自分ごととして感じ、命を大切に する行動について考える ことができた。	さまざまな考えを聞き、命 を大切にするためにでき ることを考えることがで きた。	D 主として自然や崇高なもの の関わりに関すること	D-(1) 生命の尊重
5月	○コーチング①	お互いを知る 対話からの気づき	自分の行動に責任を持 ち、よりよい選択を考え ることができた。	自由と責任の関わりにつ いてさまざまな意見を聞 き、適切な行動を選ぼう としていた。	A 主として自分自身に関する こと	A-(1) 自主・自律、自由と 責任
6月	●今あるものに目を向ける		自分の行動に責任を持 ち、よりよい選択を考え ることができた。	自由と責任の関わりにつ いてさまざまな意見を聞 き、適切な行動を選ぼう としていた。	A 主として自分自身に関する こと	A-(1) 自主・自律、自由と 責任
7月	●自分や仲間の良さを知る	相手への振る舞い	自分が周囲に支えられ ていることを実感し、感 謝の気持ちを表現でき た。	相手の立場を考えなが ら、思いやりのある行動 を意識できた。	B 主として人との関わりに関 すること	B-(1) 思いやり・感謝
8月 9月	○アンガーマネジメント① ○アンガーマネジメント②	怒りの温度を知る	生活習慣を振り返り、健 康や安全を保つために できる工夫を考えるこ うができた。	自分や周囲の考えを聞 き、さまざまな角度から 見つめ、よりよい生活 を考えることができた。	A 主として自分自身に関する こと	A-(2) 望ましい生活習慣、 安全と健康
10月	●社会でよりよく生きる	公共でのふるまい 行動を考える	社会のルールを自分 ごととして受け止め、ど のように行動したらよ いかわかることができ た。	さまざまな考えを聞き、規 律や法律について理解 することができた。	C 主として集団や社会との関 わりに関すること	C-(1) 規律と違法精神
11月 12月	●違いを認め合う ○コーチング②	自分と相手の 違いについて お互いを知る 対話からの気づき	自分の良さや課題を振 り返り、より成長する ために取り組もうとして いた。	自分と他人の違いを知 り、個性を活かしたより よい行動を考えることが できた。	A 主として自分自身に関する こと	A-(3) 自分自身を知る、向 上心、個性の伸長
1月	○コーチング③	お互いを知る 対話からの気づき	自分の良さや課題を振 り返り、より成長する ために取り組もうとして いた。	自分と他人の違いを知 り、個性を活かしたより よい行動を考えることが できた。	A 主として自分自身に関する こと	A-(3) 自分自身を知る、向 上心、個性の伸長
2月	○コーチング④	お互いを知る 対話からの気づき	自分が周囲に支えられ ていることを実感し、感 謝の気持ちを表現でき た。	相手の立場を考えなが ら、思いやりのある行動 を意識できた。	B 主として人との関わりに関 すること	B-(1) 思いやり・感謝
3月	●自然について考える	震災や自然環境 について考える	不公平な場面に気づ き、自分がどのように行 動するか考えることが できた。	差別や偏見について、さ まざまな角度からとら えて、よりよい社会の一 員としての行動を考え ることができた。	C 主として集団や社会との関 わりに関すること	C-(2) 公正・公平、差別や 偏見のない社会の実現
			自然環境を身近な問題 としてとらえ、大切に しようとしていた。	自然との関わりにつ いてさまざまな考えを知 り、自分ができることを 考えることができた。	D 主として自然や崇高なもの の関わりに関すること	D-(2) 自然との共生

(特別の教科 道徳) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分としての考えを深める。 ・学習を通して、他者との折り合いのつけ方について考える。	教科で育てたい資質 能力	自己理解を深め、他者との折り合いをつけて生きる力
----------	---	-----------------	--------------------------

教科の2観点(目標)

(1) より良い行動について自分のこととして具体的に考えようとしている。

(2) 多面的、多角的な見方を知り、自分に合った対応の仕方を具体的に考えようとしている。

(2) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行 2年 選択発展 3年 深化決定			
時期	単元・題材名	内容	評価の観点			
			(1) より良い行動について、自分のこととして具体的に考える	(2) 多面的、多角的な見方を知る、よいよい行動を選択する	4つの視点	道徳の22の内容項目
4月	●オリエンテーション ●協力(役割と責任)	・学習の進め方やねらいを学ぶ	自分の役割や責任について考えることができた。	さまざまな意見を聞き、より良い学校生活のためにできることを考えることができた。	A 主として自分自身に関すること	C-(6) より良い学校生活、役割と責任
5月	○コーチング①	・お互いを知る対話からの気づき	自分自身の課題について見つめ、より深く学ぼうとしていた。	さまざまな考えを組み合わせ、創造的な工夫やよりよい解決方法を選ぼうとしていた。	A 主として自分自身に関すること	A-(5) 真理の探究・創造
6月	●向上心・個性の伸長	・自分の行動を振り返る	生活習慣を振り返り、健康や安全を保つためにできる工夫を考えることができた。	自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。	A 主として自分自身に関すること	A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長
7月	●相手への伝え方を考える	・他者との距離感を学ぶ	言葉づかい・態度など、時と場合に応じた言動を踏まえ、日常生活を見直していた。	礼儀が相手を尊重し、人間関係を円滑にすることを理解できた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること	B-(2) 礼儀
8月 9月	○アンガーマネジメント① ○アンガーマネジメント②	・怒りの対処法	生活習慣を振り返り、健康や安全を保つためにできる工夫を考えることができた。	自分や周囲の考えを聞き、さまざまな角度から見つめ、よりよい生活を考えることができた。	A 主として自分自身に関すること	A-(2) 望ましい生活習慣、安全と健康
10月	●気持ちを言葉で伝える	・より良い人間関係を学ぶ	友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた	多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。	B 主として人との関わりに関すること	B-(3) 友情、さまざまな性の理解と尊重
11月 12月	●平和学習	・長崎平和宣言と核兵器禁止条約 ・自分の生き方を考える	国の出来事、世界の出来事を自分ごととしてとらえ、平和の実現に関心を持つことができた。	国際的な視点からさまざまな意見を知り、平和について考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること	C-(9) 国際理解、世界平和の実現
	○コーチング②	・お互いを知る対話からの気づき	自分の良さや課題を振り返り、より成長するために取り組もうとしていた。	自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。	A 主として自分自身に関すること	A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長
1月	○コーチング③	・お互いを知る対話からの気づき	友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた	多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。	B 主として人との関わりに関すること	B-(3) 友情、さまざまな性の理解と尊重
2月	○コーチング④	・お互いを知る対話からの気づき	自分の役割を意識し、社会の一員としてどのように行動するかを考えることができた。	社会や地域の様々な課題について知り、どのようにふるまうか考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること	C-(3) 社会参画・公共の精神
3月	●命について考える	平和について 実践	命の大切さを自分ごととして感じ、命を大切にしている行動について考えることができた。	さまざまな考えを聞き、命を大切にするためにできることを考えることができた。	D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること	D-(1) 生命の尊重

●学年道徳 ○外部講師

(特別の教科 道徳) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分としての考えを深める。 ・学習を通して、他者との折り合いのつけ方について考える。	教科で育てたい資質能力	自己理解を深め、他者との折り合いをつけて生きる力
----------	---	-------------	--------------------------

教科の2観点(目標)

- (1) より良い行動について自分のこととして具体的に考えようとしている。
- (2) 多面的、多角的な見方を知り、自分に合った対応の仕方を具体的に考えようとしている。

(3) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行		2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点			
			(1) より良い行動について、自分のこととして具体的に考える	(2) 多面的、多角的な見方を知る、よいよい行動を選択する	4つの視点	道徳の22の内容項目
4月	●オリエンテーション ●生まれてきた意味と生きる目的を考える	・学習の進め方やねらいを学ぶ ・『この世に生まれてきた大切な理由(体内記憶)』をみんな読んで語り合う	自分自身の課題について見つめ、より深く学ぼうとしていた。 困難な状況を自分ごととして受け止め、希望を持ちながら前向きに進もうとしている。 自分の良さや課題を振り返り、より成長するために取り組もうとしていた。	さまざまな考えを組み合わせ、創造的な工夫やよりよい解決方法を選ぼうとしていた。 行動の意味をさまざまな角度から見つめ、自分に合った挑戦を選ぼうとしていた。 自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。	A 主として自分自身に関すること	A-(5) 心理の探究・創造 A-(4) 希望と勇気 A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長
5月	○コーチング①【違いを楽しむ】	・itoゲーム ・違いを楽しむコミュニケーション ・否定しないでみんなの意見を大切に新しいものを生み出す	友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた。	多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。	B 主として人との関わりに関すること	B-(3) 友情、さまざまな性の理解と尊重 B-(4) 相互理解・人格の尊重
6月	●平和学習	・修学旅行の思い出から原爆資料館 ・長崎平和宣言と核兵器禁止条約 ・目撃者の証言を聞く	国の出来事、世界の出来事を自分ごととしてとらえ、平和の実現に関心を持つことができた。	国際的な視点からさまざまな意見を知り、平和について考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること	C-(9) 国際理解、世界平和の実現
7月	●曲を聴いて語り合う『地平線の彼方から』	・曲を聴いて心が動いた箇所を探す ・隣の人と語り合ってそれぞれの感じ方を伝え合う ・違いや共感を発表し合う	自然や偉大なものに触れて、自然や人・物事の偉大さに対して尊敬や感謝の気持ちを持ち、気持ちを受け止めることができた。	さまざまな考えを聞き、人や自然を尊重する行動について考えることができた。	D 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること	D-(3) 畏敬の念 A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長 B-(4) 相互理解・人格の尊重
8月 9月	○アンガーマネジメント【アサーティブコミュニケーション①】 ○アンガーマネジメント【アサーティブコミュニケーション②】	・自分も相手も大切にしたい伝え方・コミュニケーションパターン ・ケーススタディ(隣の人と小劇)・自己表現の権利	不公平な場面に気づき、自分がどのように行動するか考えることができた。 使用するあいさつや言葉づかい、態度など、時と場合に応じた言動を踏まえ、日常生活を見直していた。	差別や偏見について、さまざまな角度からとらえて、よりよい社会の一員としての行動を考えることができた。 礼儀が相手を尊重し、人間関係を円滑にすることを理解できた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること B 主として人との関わりに関すること	C-(2) 公正・公平、差別や偏見のない社会の実現 B-(3) 礼儀
10月	●よりよく生きる喜び	・自分の中の良心に気づく ・自分の中の本当の自分と向き合う ・志教育に向けて	困難な状況を自分ごととして受け止め、希望を持ちながら前向きに進もうとしている。 国の文化や伝統について知り、意義を考えることができた。 自分の存在について考え、生きる喜びについて自分ごととして感じる事ができた。	行動の意味をさまざまな角度から見つめ、自分に合った挑戦を選ぼうとしていた。 他国の文化との比較を通して、自国について考えを深めることができた。 それぞれの人としての考えを聞きあい、自分と他者を大切にするためにできることを考えることができた。	A 主として自分自身に関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること	A-(4) 希望と勇気 C-(8) 国の伝統と文化の尊重 D-(4) 人間としての誇り・生きる喜び
11月 12月	☆志教育①(外部講師) ○コーチング②【自分の中の自分を知る】	・夢と志の違い・人は志を思っ生まれてくる・自分の志とは ・様々な自分を発見したり認めあったりする中で自己理解を深める。	自分の良さや課題を振り返り、より成長するために取り組もうとしていた。 自分自身の課題について見つめ、より深く学ぼうとしていた。	自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。 さまざまな考えを組み合わせ、創造的な工夫やよりよい解決方法を選ぼうとしていた。	A 主として自分自身に関すること A 主として自分自身に関すること	A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長 A-(5) 心理の探究・創造
1月	○コーチング③【自責他責①】	・自分を振り返る ・例示から自分事として考える ・行動の意味を考える ・メタ認知を知る	自分が周囲に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを表現できた。 友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた。 自分の思いや考えを伝えると同時に、相手のことを認めながら話を聞きあうことができた。	相手の立場を考えながら、思いやりのある行動を意識できた。 多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。 立場や考えの違いを知り、お互いを尊重することができた。	B 主として人との関わりに関すること	B-(1) 思いやり・感謝 B-(3) 友情、さまざまな性の理解と尊重 B-(4) 相互理解・人格の尊重
2月	○コーチング④【自責他責②】 ☆特別時間割で、志教育②③	・自分を振り返る ・例示から自分事として考える ・行動の意味を考える ・メタ認知を知る ・語り合っている ・自分の志を文にして発表する ・他者の志を支える	不公平な場面に気づき、自分がどのように行動するか考えることができた。 学校生活の中で、自分の役割や責任について考えることができた。 自分の役割を意識し、社会の一員としてどのように行動するか考えることができた。	差別や偏見について、さまざまな角度からとらえて、よりよい社会の一員としての行動を考えることができた。 学校生活についてさまざまな意見を聞き、よりよい学校生活のためにできることを考えることができた。 社会や地域の様々な課題について知り、どのようにふるまうか考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること	C-(2) 公正・公平、差別や偏見のない社会の実現 C-(6) より良い学校生活、役割と責任 C-(3) 社会参画・公共の精神
3月						

●学年道徳 ○外部講師

特別の教科 道徳 22の内容項目

● 主に扱う内容項目

	1年	2年	3年	(1)より良い行動について、自分のこととして具体的に考える	(2)多面的、多角的な見方を知る、よいよい行動を選択する
A 主として自分自身に関すること					
A-(1) 自主・自律、自由と責任	●	○	○	自分の行動に責任を持ち、よりよい選択を考えることができた。	自由と責任の関わりについてさまざまな意見を聞き、適切な行動を選ぼうとしていた。
A-(2) 望ましい生活習慣、安全と健康	●	●	○	生活習慣を振り返り、健康や安全を保つためにできる工夫を考えることができた。	自分や周囲の考えを聞き、さまざまな角度から見つめ、よりよい生活を考えることができた。
A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長	●	●	○	自分の良さや課題を振り返り、より成長するために取り組もうとしていた。	自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。
A-(4) 希望と勇気	○	○	●	困難な状況を自分ごととして受け止め、希望を持ちながら前向きに進もうとしている。	行動の意味をさまざまな角度から見つめ、自分に合った挑戦を選ぼうとしていた。
A-(5) 真理の探究・創造	○	○	●	自分自身の課題について見つめ、より深く学ぼうとしていた。	さまざまな考えを組み合わせ、創造的な工夫やよりよい解決方法を選ぼうとしていた。
B 主として人との関わりに関すること					
B-(1) 思いやり・感謝	●	○	○	自分が周囲に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを表現できた。	相手の立場を考えながら、思いやりのある行動を意識できた。
B-(2) 礼儀	○	●	○	使用するあいさつや言葉づかい・態度など、時と場合に応じた言動を踏まえ、日常生活を見直していた。	礼儀が相手を尊重し、人間関係を円滑にすることを理解できた。
B-(3) 友情、信頼	○	●	●	友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた。	多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。
B-(4) 相互理解・人格の尊重	○	○	●	自分の思いや考えを伝えと同時に、相手のことを認めながら話を聞きあうことができた。	立場や考えの違いを知り、お互いを尊重することができた。
C 主として集団や社会との関わりに関すること					
C-(1) 規律と遵法精神	●	○	○	社会の決まりごとを自分ごととして受け止め、どのように行動したらよいかを考えることができた。	さまざまな考えを聞き、規律や法律について理解することができた。
C-(2) 公正・公平、差別や偏見のない社会の実現	●	○	○	不公平な場面に気づき、自分がどのように行動するか考えることができた。	差別や偏見について、さまざまな角度からとらえて、よりよい社会の一員としての行動を考えることができた。
C-(3) 社会参画・公共の精神	○	●	○	自分の役割を意識し、社会の一員としてどのように行動するかを考えることができた。	社会や地域の様々な課題について知り、どのようにふるまうか考えることができた。
C-(4) 勤労の尊さ、社会貢献	○	●	○	働くことの大切さを自分ごととして理解し、できることを考えている。	勤労の意義を知り、社会に貢献する行動について考えることができた。
C-(5) 家庭生活の充実	○	○	○	家庭での役割を振り返り、よりよい生活について考えることができていた。	家族の役割を踏まえ、自分がどのようにふるまうか意識している。
C-(6) より良い学校生活、役割と責任	○	○	●	学校生活の中で、自分の役割や責任について考えることができた。	学校生活についてさまざまな意見を聞き、より良い学校生活のためにできることを考えることができた。
C-(7) 郷土の伝統と文化の尊重	○	○	○	郷土の伝統や文化を自分の生活に結びつけて考えている。	多様な文化の価値を理解し、郷土を大切にするためにできることを考えている。
C-(8) 国の伝統と文化の尊重	○	○	○	国の文化や伝統について知り、意義を考えることができた。	他国の文化との比較を通して、自国について考えを深めることができた。
C-(9) 国際理解、世界平和の実現	○	○	●	世界の出来事を自分ごととしてとらえ、平和の実現に関心を持つことができた。	国際的な視点からさまざまな意見を知り、平和について考えることができた。
D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること					
D-(1) 生命の尊重	●	●	○	命の大切さを自分ごととして感じ、命を大切にしている行動について考えることができた。	さまざまな考えを聞き、命を大切にするためにできることを考えることができた。
D-(2) 自然との共生	●	●	○	自然環境を身近な問題としてとらえ、大切にしようとしていた。	自然との関わりについてさまざまな考えを知り、自分ができることを考えることができた。
D-(3) 畏敬の念	○	○	●	自然や偉大なものに触れて、自然や人・物事の偉大さに対して尊敬や感謝の気持ちを持ち、気持ちを受け止めることができた。	さまざまな考えを聞き、人や自然を尊重する行動について考えることができた。
D-(4) 人間としての誇り・生きる喜び	○	○	●	自分の存在について考え、生きる喜びについて自分ごととして感じる事ができた。	それぞれの人としての考えを聞きあい、自分と他者を大切にするためにできることを考えることができた。



綜合的 探究

(総合的な探究の時間) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・自己の在り方生き方や進路について考察する学習を通して、自分らしく生き、働くために必要な知識や態度を養う。 ・探究活動や共同及び交流学习を通して、自己理解を深め、課題解決能力の育成を図る。 ・身に付けた知識を現実生活や今後の進路に応用し、協働して豊かな社会を築くことに積極的に寄与する意欲や態度を育む。	教科で育てたい 資質能力	目標を設定し、情報を収集し、適切に利用して発信する力
----------	---	-----------------	----------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
(2) 思考力判断力表現力等	・実社会や実生活と自己との関わりから課題を見出し、必要な情報が何かを判断する力を養う。 ・収集した情報を整理・分析してまとめ、表現する力を育む。
(3) 学びに向かう力人間性等	・探究の活動に主体的・協働的に取り組み、自己の生き方や社会生活をより良くしようとする態度を養う。

(1) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	オリエンテーション	教科目標・学年目標・年間計画について			
5月 ～ 6月	自分を知ろう	自分の長所・短所を知る	自分の長所・短所を分析し、それぞれどのように伸ばすか理解する。	長所をどのように伸ばすか、短所をどのように改善するかを考えようとしている。	課題を主体的に設定しようとしている。
6月 ～ 7月	職種調べ	興味のある職種を知る	収集した情報から必要な情報を取捨選択するなどの整理の仕方が分かる。	受け手相手を意識して、伝わりやすい表現方法を考えている。	発表後のアドバイスを聞き、より良い探求やより良い発表に向けて取り組もうとしている。
9月 ～ 10月	自分に適している仕事調べ	これまでの学習から、自分がどのような職種に向いている考える	インターネットなどさまざまな手段を使って適切に情報収集する方法が分かる。	自己の在り方生き方と結び付けて課題を設定しようとしている。	整理・分析に必要な情報を積極的に収集しようとしている。
11月 ～ 2月	私の進路について	今の自分が考える進路をまとめ、発表する	自分の希望する進路のために、どのように課題解決をするかなど、自分の意見をわかりやすく論理的にまとめている。	受け手相手を意識して、伝わりやすい表現方法を考え、写真や図表などを適切に使おうとしている。	課題分析に向け、積極的に整理分析しようとしている。
1月	3年自分史発表会	3年生の自分史発表を聞く	学習計画に沿った課題を設定している。	自己の在り方生き方と結び付けて課題を設定しようとしている。	課題を主体的に設定しようとしている。

(総合的な探究の時間) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・自己の在り方生き方や進路について考察する学習を通して、自分らしく生き、働くために必要な知識や態度を養う。 ・探究活動や共同及び交流学习を通して、自己理解を深め、課題解決能力の育成を図る。 ・身に付けた知識を現実生活や今後の進路に応用し、協働して豊かな社会を築くことに積極的に寄与する意欲や態度を育む。	教科で育てたい 資質能力	目標を設定し、情報を 収集し、適切に利用し て発信する力
----------	---	-----------------	------------------------------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
(2) 思考力判断力表現力等	・実社会や実生活と自己との関わりから課題を見出し、必要な情報が何かを判断する力を養う。 ・収集した情報を整理・分析してまとめ、表現する力を育む。
(3) 学びに向かう力人間性等	・探究の活動に主体的・協働的に取り組み、自己の生き方や社会生活をより良くしようとする態度を養う。

2年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 5月	オリエンテーション	教科目標・学年目標・年間計画について	・総合的な学習の時間の目標(資質・能力)や1年間で学習する内容を知ることができる。	・教科の目標や1年間で学習する内容を意識し、自分なりのイメージをもつことができる。	・1年間で学習する内容に関心をもち、探究の活動に主体的、協働的に取り組もうとしている。
4月 5月	「専門実習で身に付く力」各課グループでの計画書作成	「専門実習で身に付く力」を考えスライドの役割分担と作成計画を立てる	・目標に向けて分かりやすく紹介できるように話し合いができる。 ・作業分担ができる。	・「専門実習で身に付く力」を考え、内容を選択し、設定しようとしている。	・内容を主体的、協働的に設定しようとしている。
5月 ～ 9月	「専門実習で身に付く力」スライド作成	「専門実習で身に付く力」を考えスライド作成を進める	・所属する専門実習についての情報を集め、アンケート等を整理できる。	・受け手の分かりやすさを考慮し、簡潔な表現や図表等の使用を意識してまとめることができる。	・内容をより良くするために必要な情報を積極的に収集しようとしている。
9月 ～ 10月	「専門実習で身に付く力」スライド動画、音声入力作業及び学年発表会	横浜南陵高校1年生や本校を見学する中学生に伝えることを意識し、PV発表を行う	・自分や仲間の発表をより良くするための視点を持ち、表現することができる。	・受け手に発表内容を伝えるために、声や姿勢、態度等も意識して発表することができる。	・受け手の理解につながってほしいという気持ちをもって、発表しようとしている。
10月	「働き続ける力」スライド計画書作成	「働き続けるために必要な力・環境・もの」を考え、スライドの作成計画を立てる	・長く働くための生活習慣や働きやすさ、ワークライフバランスに視点を置き、学習計画に沿って、課題を設定することができる。	・自己の強みと課題、興味関心と結び付けて課題を選択し、設定しようすることができる。	・自己テーマを主体的に設定し発展させようとしている。
10月 ～ 12月	「働き続ける力」スライド作成	「働き続けるために必要な力・環境・もの」を考え、スライドの作成を進める	・長く働くための生活習慣や働きやすさ、ワークライフバランスに視点を置き、必要な情報を収集し、整理することができる。	・受け手の分かりやすさを考慮し、簡潔な表現や図表等の使用を意識してまとめることができる。	・自己の生き方をより良くするために必要な情報を積極的に収集、選択しようとしている。
1月	「働き続ける力」学年シャッフル発表会 横浜南陵高校との交流発表会	横浜南陵高校1年生や学年の生徒に伝えることを意識して発表を行う	・自分や仲間の発表をより良くするための視点を持ち、表現することができる。	・受け手に発表内容を伝えるために、声や姿勢、態度等も意識して発表することができる。	・自他ともに肯定的な理解につながってほしいという気持ちをもって、発表しようとしている。

(特別の教科 道徳) 教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分としての考えを深める。 ・学習を通して、他者との折り合いのつけ方について考える。	教科で育てたい資質能力	自己理解を深め、他者との折り合いをつけて生きる力
----------	---	-------------	--------------------------

教科の2観点(目標)

(1) より良い行動について自分のこととして具体的に考えようとしている。

(2) 多面的、多角的な見方を知り、自分に合った対応の仕方を具体的に考えようとしている。

(3) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			(1) より良い行動について、自分のこととして具体的に考える	(2) 多面的、多角的な見方を知る、よいよい行動を選択する	4つの視点
4月	●オリエンテーション ●生まれてきた意味と生きる目的を考える	・学習の進め方やねらいを学ぶ ・『この世に生まれてきた大切な理由(体内記憶)』をみんな読んで語り合う	自分自身の課題について見つめ、より深く学ぼうとしていた。 困難な状況を自分ごととして受け止め、希望を持ちながら前向きに進もうとしている。 自分の良さや課題を振り返り、より成長するために取り組もうとしていた。	さまざまな考えを組み合わせ、創造的な工夫やよりよい解決方法を選ぼうとしていた。 行動の意味をさまざまな角度から見つめ、自分に合った挑戦を選ぼうとしていた。 自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。	A 主として自分自身に関すること A-(5) 心理の探究・創造 A-(4) 希望と勇気 A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長
5月	○コーチング①【違いを楽しむ】	・itoゲーム ・違いを楽しむコミュニケーション ・否定しないでみんなの意見を大切に新しいものを生み出す	友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた。	多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。	B 主として人との関わりに関すること B-(3) 友情、さまざまな性の理解と尊重 B-(4) 相互理解・人格の尊重
6月	●平和学習	・修学旅行の思い出から原爆資料館 ・長崎平和宣言と核兵器禁止条約 ・目の土をこす	国の出来事、世界の出来事を自分ごととしてとらえ、平和の実現に関心を持つことができた。	国際的な視点からさまざまな意見を知り、平和について考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること C-(9) 国際理解、世界平和の実現
7月	●曲を聴いて語り合う『地平線の彼方から』	・曲を聴いて心が動いた箇所を探す ・隣の人と語り合ってそれぞれの感じ方を伝え合う ・違いや共感を発表し合う	自然や偉大なものに触れて、自然や人・物事の偉大さに対して尊敬や感謝の気持ちを持ち、気持ちを受け止めることができた。	さまざまな考えを聞き、人や自然を尊重する行動について考えることができた。	D 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること D-(3) 畏敬の念 A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長 B-(4) 相互理解・人格の尊重
8月 9月	○アンガーマネジメント【アサーティブコミュニケーション①】 ○アンガーマネジメント【アサーティブコミュニケーション②】	・自分も相手も大切にしたい伝え方・コミュニケーションパターン ・ケーススタディ(隣のひとと小劇)・自己表現の権利	不公平な場面に気づき、自分がどのように行動するか考えることができた。 使用するあいさつや言葉づかいの態度など、時と場合に応じた言動を踏まえ、日常生活を見直していた。	差別や偏見について、さまざまな角度からとらえて、よりよい社会の一員としての行動を考えることができた。 礼儀が相手を尊重し、人間関係を円滑にすることを理解できた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること B 主として人との関わりに関すること C-(2) 公正・公平、差別や偏見のない社会の実現 B-(3) 礼儀
10月	●よりよく生きる喜び	・自分の中の良心に気づく ・自分の中の本当の自分と向き合う ・志教育に向けて	困難な状況を自分ごととして受け止め、希望を持ちながら前向きに進もうとしている。 国の文化や伝統について知り、意義を考えることができた。 自分の存在について考え、生きる喜びについて自分ごととして感じることもできた。	行動の意味をさまざまな角度から見つめ、自分に合った挑戦を選ぼうとしていた。 他国の文化との比較を通して、目国について考えを深めることができた。 それぞれの人としての考えを聞きあい、自分と他者を大切にするためにできることを考えることができた。	A 主として自分自身に関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること A-(4) 希望と勇気 C-(8) 国の伝統と文化の尊重 D-(4) 人間としての誇り・生きる喜び
11月 12月	☆志教育①(外部講師) ○コーチング②【自分の中の自分を知る】	・夢と志の違い・人は志を思って生まれてくる・自分の志とは ・様々な自分を発見したり認めあったりする中で自己理解を深める。	自分の良さや課題を振り返り、より成長するために取り組もうとしていた。 自分自身の課題について見つめ、より深く学ぼうとしていた。	自分と他人の違いを知り、個性を活かしたよりよい行動を考えることができた。 さまざまな考えを組み合わせ、創造的な工夫やよりよい解決方法を選ぼうとしていた。	A 主として自分自身に関すること A 主として自分自身に関すること A-(3) 自分自身を知る、向上心、個性の伸長 A-(5) 心理の探究・創造
1月	○コーチング③【自責他責①】	・自分を振り返る ・例示から自分事として考える ・行動の意味を考える ・メタ認知を知る	自分が周囲に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを表現できた。 友人との関わりを振り返り、友情について考えを深めることができた。 自分の思いや考えを伝えるとき同時に、相手のことを認めながら話を聞きあうことができた。	相手の立場を考えながら、思いやりのある行動を意識できた。 多様な性や価値観を知り、お互いを認め合うことの大切さを理解できた。 立場や考えの違いを知り、お互いを尊重することができた。	B 主として人との関わりに関すること B-(1) 思いやり・感謝 B-(3) 友情、さまざまな性の理解と尊重 B-(4) 相互理解・人格の尊重
2月	○コーチング④【自責他責②】 ☆特別時間割で、志教育②③	・自分を振り返る ・例示から自分事として考える ・行動の意味を考える ・メタ認知を知る ・語り合っている	不公平な場面に気づき、自分がどのように行動するか考えることができた。 学校生活の中で、自分の役割や責任について考えることができた。	差別や偏見について、さまざまな角度からとらえて、よりよい社会の一員としての行動を考えることができた。 学校生活についてさまざまな意見を聞き、よりよい学校生活のためにできることを考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること C-(2) 公正・公平、差別や偏見のない社会の実現 C-(6) より良い学校生活、役割と責任
3月		・自分の志を文にして発表する ・他者の志を支える	自分の役割を意識し、社会の一員としてどのように行動するか考えることができた。	社会や地域の様々な課題について知り、どのようにふるまうか考えることができた。	C 主として集団や社会との関わりに関すること C-(3) 社会参画・公共の精神

●学年道徳 ○外部講師



自立 活動

(自立活動)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・社会的自立に向けて、他者と協働しながら主体的に 目標を定めて学びに向かうための資質・能力を養う。 ・自己理解を深め、自己肯定感を高めるとともに、得意 不得意など自己の特性に係る意思を表明するための 資質・能力を養う。	教科で育てたい資質 能力	自己理解力・課題対応力
----------	---	-----------------	-------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・自分の特徴を把握し、学習上または生活上の困難や課題を理解するとともに、その改善方法 を見つめられるようにする。
(2) 思考力判断力表現力等	・学習上はまた生活上の困難を改善克服するために必要な情報を得て、必要に応じた支援を 自己選択・自己決定できるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	・自立活動における学習が、将来の自立や社会参加につながることを理解し、粘り強く取り組 む姿勢を育む。

(1)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 ～ 7月	ガイダンス	アイスブレイク	・自己理解・課題対応力について学ぶことを理解する ・自分カードの書き方や自己紹介の仕方を知る(聴き方・伝え方)	・自分の特徴を言語化する ・自己紹介の仕方を理解し、相手に伝えることができる(自己開示の仕方)	・自分の特性について考えることができる
		なぜ「自立活動」を学ぶのか？			
		自分カード・自己紹介サイコロトーク 本人の願い(個別の支援計画)			
	面談・目標立て	じぶんカード	・課題分析シートの理解 ・自己の課題を焦点化することを知る	・自分の状態を相手に分かりやすく伝える(教師面談) ・焦点化した課題に対するアプローチを考える	・他者評価を受け入れ、目標立てに生かす ・目標の掲示をし、習慣的に振り返る(SHR等)
		課題分析シート			
		目標立てWS	・発表の仕方、聴き方を知る ・目標を立てることができる ・相手に相談できる	・相手の話を聴く ・目標に対するアプローチを話そうとしている ・アドバイスを聞き、考えの基礎を築こうとしている	・相手の立場を理解した共感やアドバイスをしようとしている
		担任と面談			
		掲示			
		課題分析シート	・課題分析の仕方について理解している ・相談会準備ワークシートについて理解している ・発表の仕方、聴き方を知る ・相手に相談できる	・現状の自己課題について客観的に評価している ・課題について、アプローチの仕方を言語化している ・アドバイスを聞き、考えの基礎を築こうとしている	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を試行しようとしている ・相手への共感やアドバイスをしようとしている
10月	教師面談	他者評価	・相手に相談できる	・現状の自己課題について客観的に評価している ・アドバイスを聞き、考えの基礎を築こうとしている	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を試行しようとしている
	前期振り返り・まとめ	自分カード	・目標について振り返り、言語化できる ・まとめWSの内容を知る	・具体的な行動を振り返り、言語化しようとしている	
前期まとめWS					
11月	キャリア相談会 (2回目現場実習後)	相談会(準備)	・課題分析の仕方について理解している ・相談会準備WSについて理解している ・発表の仕方、聴き方を知る ・相手に相談できる	・現状の自己課題について客観的に評価している ・課題について、アプローチの仕方を言語化している ・アドバイスを聞き、考えの基礎を築こうとしている	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を試行しようとしている ・相手への共感やアドバイスをしようとしている
		専門実習相談会			
12月	振り返り・目標立て	振り返りWS	・目標について振り返り、言語化できる ・まとめWSの内容を知る	・具体的な行動を振り返り、言語化しようとしている ・目標が達成したり、違う課題が見つかったりした時に目標の変更ができる	
		目標立てWS			
		掲示			
2月 ～ 3月	振り返り・課題分析シート	振り返りWS	・目標について振り返り、言語化できる ・課題分析の仕方について理解している	・現状の自己課題について客観的に評価している	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を試行しようとしている
		課題分析シート			
	1年のまとめ	アイスブレイク	・自己理解・課題対応力について学ぶことを理解する ・まとめWSの内容を知る	・具体的な行動を振り返り、言語化しようとしている	
		自分カード			

(自立活動)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・社会的自立に向けて、他者と協働しながら主体的に目標を定めて学びに向かうための資質・能力を養う。 ・自己理解を深め、自己肯定感を高めるとともに、得意不得意など自己の特性に係る意思を表明するための資質・能力を養う。	教科で育てたい資質 能力	自己理解力・課題対応力
----------	---	-----------------	-------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・自分の特徴を把握し、学習上または生活上の困難や課題を理解するとともに、その改善方法を見つけられるようにする。
(2) 思考力判断力表現力等	・学習上はまた生活上の困難を改善克服するために必要な情報を得て、必要に応じた支援を自己選択・自己決定できるようにする。
(3) 学びに向かう力人間性等	・自立活動における学習が、将来の自立や社会参加につながることを理解し、粘り強く取り組む姿勢を育む。

(2) 年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 ～ 6月	ガイダンス	アイスブレイク	・自己理解・課題対応力について学ぶことを理解する ・自分カードの書き方や自己紹介の仕方を知る(聴く・伝える)	・自分の特徴を言語化する ・自己紹介の仕方を理解し、相手に伝えることができる(自己開示)	
		なぜ「自立活動」を学ぶのか?			
		自分カード 自己紹介			
	面談・目標立て	教師面談	・課題分析シートの理解 ・自己の課題を焦点化することを知る	・自分の状態を相手に分かりやすく伝える(教師面談) ・焦点化した課題に対するアプローチを考える ・小さく、具体的な目標を立てる	・他者評価を受け入れ、目標立てに生かす ・目標の掲示をし、習慣的に振り返る(SHR等)
		目標立て			
		掲示			
7月 ～ 9月	課題分析シート・ キャリア相談会 (1回目現場実習後)	自分カード	・発表の仕方、聴き方を知る ・目標を立てることができる ・相手に相談できる	・相手の話を聴く ・目標に対するアプローチを話そうとしている ・アドバイスを聞き、考えの選択をしようとしている	・相手の立場を理解した共感やアドバイスをしようとしている。
		相談会(目標共有)			
	課題分析シート・ キャリア相談会 (1回目現場実習後)	課題分析シート	・課題分析の仕方について理解している ・相談会準備ワークシートについて理解している ・発表の仕方、聴き方を知る ・相手に相談できる	・現状の自己課題について客観的に評価している ・課題について、アプローチの仕方を言語化している ・アドバイスを聞き、考えの選択をしようとしている	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を選択発展させようとしている ・相手への共感やアドバイスをしようとしている
		相談会準備			
		相談会			
10月	前期振り返り・まとめ	自分カード	・目標について振り返り、言語化できる ・まとめWSの内容を知る	・具体的な行動を振り返り、言語化しようとしている	
		前期まとめWS			
11月	キャリア相談会 (2回目現場実習後)	相談会(準備)	・課題分析の仕方について理解している ・相談会準備WSについて理解している ・発表の仕方、聴き方を知る	・現状の自己課題について客観的に評価している ・課題について、アプローチの仕方を言語化している ・アドバイスを聞き、考えの選択をしようとしている	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を選択発展させようとしている ・相手への共感やアドバイスをしようとしている
		専門実習相談会			
12月	振り返り・目標立て	振り返りWS	・目標について振り返り、言語化できる ・まとめWSの内容を知る	・具体的な行動を振り返り、言語化しようとしている ・目標が達成したり、違う課題が見つかったりした時に目標の変更ができる	
		目標立てWS			
		掲示			
2月 ～ 3月	振り返り・課題分析シート	振り返りWS	・目標について振り返り、言語化できる ・課題分析の仕方について理解している	・現状の自己課題について客観的に評価している	・自己の課題についての内容を整理し、次の行動を選択発展させようとしている
		課題分析シート			
	1年のまとめ	アイスブレイク	・自己理解・課題対応力について学ぶことを理解する ・まとめWSの内容を知る	・具体的な行動を振り返り、言語化しようとしている	
		自分カード			
		後期まとめWS			

(自立活動)教育内容及び年間指導計画

教科 目標	・社会的自立に向けて、他者と協働しながら主体的に目標を定めて学びに向かうための資質・能力を養う。 ・自己理解を深め、自己肯定感を高めるとともに、得意不得意など自己の特性に係る意思を表明するための資質・能力を養う。	教科で育てたい資質 能力	自己理解力・課題対応力
----------	---	-----------------	-------------

教科の3観点(目標)

(1) 知識及び技能等	・自分の特徴を把握し、学習上または生活上の困難や課題を理解するとともに、その改善方法を見つけられるようにする。				
(2) 思考力判断力表現力等	・学習上はまた生活上の困難を改善克服するために必要な情報を得て、必要に応じた支援を自己選択・自己決定できるようにする。				
(3) 学びに向かう力人間性等	・自立活動における学習が、将来の自立や社会参加につながることを理解し、粘り強く取り組む姿勢を育む。				
(3)年 年間計画と評価		学年目標	1年 基礎試行	2年 選択発展	3年 深化決定
時期	単元・題材名	内容	評価の観点		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	ガイダンス 課題分析シート	ガイダンス 課題分析シート	・自己理解・課題対応力について学ぶことを理解する。 ・課題分析シートの書き方を知る。(聴く・伝える)	・自分の特徴を言語化する。 ・自分のことを理解し、相手に伝えることができる(自己開示)	・自己を客観的に見つめようとしている。
5月 ～ 7月	面談 前期目標立て	教師面談 目標立て 掲示	・課題分析シートに記入した内容を理解する。 ・自己の課題を焦点化することを知る。	・自分の状態を相手に分かりやすく伝える(教師面談) ・焦点化した課題に対するアプローチを考える ・小さく、具体的な目標を立てる	・他者評価を受け入れ、目標立てに生かそうとしている。 ・目標の掲示をし、習慣的に振り返っている。(SHR等)
8月 ～ 9月	振り返り 面談 後期目標立て 共有会	前期まとめWS 目標立て クラス内共有	・目標について振り返り、言語化できる。	・現状の自己課題について客観的に評価している ・課題について、アプローチの仕方を言語化している ・アドバイスを聞き、考えの選択をしようとしている	・自己の課題について内容を整理し、次の行動を深化させようとしている
10月 ～ 12月	キャリア相談会	キャリア相談会WS 職種別相談会	・課題分析の仕方について理解している。 ・相談会準備WSについて理解している。 ・発表の仕方、聴き方を知る。 ・相手に相談できる	・現状の自己課題について客観的に評価している ・課題について、アプローチの仕方を言語化している ・アドバイスを聞き、考えの選択をしようとしている	・相手への共感やアドバイスをしようとしている
1月 ～ 2月	振り返り 面談	振り返りWS 教師面談	・目標について振り返り、言語化できる。 ・課題分析の仕方について理解している。	・現状の自己課題について客観的に評価している。	・自己の課題について内容を整理し、次の行動を深化させようとしている